HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズディスプレイコンポ

WX-135CP

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■著作権保護のために…

・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

・個人情報保護に関する弊社基本方針、及び個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。

http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。
下記表に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

アドバイス	● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
お願い	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表しています。
MENU	本体のパネル操作ボタンを表します。
携帯電話	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
■／□	操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。

使用上の注意事項等

- **デュアルサイズディスプレイコンポの操作**
  - ・運転中の操作は避け、停車して行なってください。
  - ・運転中に画面を注視しないでください。
- **本機の故障、誤動作または不具合によりSDカード内などの保存データの消失等については補償できません。**

機能

● Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

T A12-0023005
R 005-100037

4 もくじ

本書の見かた……3
もくじ……4

はじめに A

安全上のご注意……A-2
お願い……A-5
主な特長……A-10
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について…A-12
本機で再生できるディスク……A-13
ディスクの取り扱いかた……A-15
SDカード／USB機器について……A-16
SDカードの取り扱いかた……A-19
各部の名称とはたらき……A-20

オーディオ／共通 B

ワンセグについて……B-2
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更（リパック）について……B-2
ワンセグの番組受信について……B-3
マルチサービスについて……B-3
ワンセグの画像について……B-3
ディスクのMP3／WMA音楽再生について……B-4
SDカードの音楽再生について……B-10
USB機器の音楽再生について……B-12
iPodについて……B-14
iPodとは……B-14
使用上のご注意……B-14
対応可能なiPod……B-15
基本操作……B-16
各モードを選択する……B-16
ディスクを入れる／取り出す……B-17
SDカードを入れる／取り出す……B-18
映像の表示について……B-18
オーディオモードをOFFにする……B-19
設定の保持について……B-19
ページのスクロールについて……B-19
AV SOURCE画面のモードボタンについて…B-20
パネル操作ボタンで選曲する……B-21
早戻し／早送りをする……B-22
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生……B-23
音量を調整する……B-25
音質／音量バランスの調整をする……B-26
車速連動音量を設定する……B-28
時計を表示する……B-29
もとの画面に戻す……B-29
交通情報を受信する……B-30

FM／AM（ラジオ） C

各部の名称とはたらき……C-2
タッチパネル部について……C-2
表示部について……C-4
FM／AM放送を切り替える……C-4
FM／AMを使う……C-5
選局する……C-5
プリセットボタンにメモリーする……C-9
交通情報を受信する……C-11

ワンセグ D

各部の名称とはたらき……D-2
バナー表示について……D-2
タッチパネル部について……D-3
ワンセグメニュー画面について……D-4
ワンセグを見る……D-5
ワンセグモードにすると……D-5
視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする…D-6
番組表を見る……D-8
中継局サーチをする……D-10
スキャンする……D-11
初期スキャン／再スキャンをする……D-11
選局する……D-13
手動選局で放送局を選ぶ……D-13
自動選局で放送局を選ぶ……D-13
プリセットで放送局を選ぶ……D-14
リストで放送局を選ぶ……D-15
プリセットボタンにメモリーする……D-18
エリア呼出／プリセット呼出について……D-19
チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する……D-20
設定をする……D-22
時計表示／中継局サーチ設定……D-22
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する……D-24
アンテナ電源の設定をする……D-26
設定を初期化する……D-27
音声と字幕の設定をする……D-28

CD／MP3／WMA E

各部の名称とはたらき……E-2
タッチパネル部について……E-2
表示部（再生画面）について……E-3
CD／MP3／WMAプレーヤーを使う……E-4
再生を一時停止する……E-4
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる…E-4

好きなフォルダを選ぶ……E-5

SD(SDカード) F

各部の名称とはたらき……F-2
タッチパネル部について……F-2
表示部(再生画面)について……F-3
SDカードを使う……F-4
再生を一時停止する……F-4
リストより選曲する……F-4
好きなフォルダを選ぶ……F-6

USB／iPod G

各部の名称とはたらき……G-2
タッチパネル部について……G-2
表示部(再生画面)について……G-3
接続する……G-4
USB機器を本機に接続する……G-4
iPodを本機に接続する……G-4
iPodを本機に接続すると……G-5
USB機器またはiPodの接続をやめる……G-5
USB機器を使う……G-6
再生を一時停止する……G-6
リストより選曲する……G-6
好きなフォルダを選ぶ……G-8
iPodを使う……G-8
再生を一時停止する……G-8
リストより好きなトラックを選び再生させる……G-9
選曲モードより選択し再生させる……G-10

iPhoneの専用アプリ連携 H

iPhoneの専用アプリを使う……H-2
安全上のご注意……H-2
アプリサービスの概要……H-2
アプリ連携可能なスマートフォンなど……H-3
連携可能なアプリ……H-3
本機と接続する……H-4
現在地の測位ができない場所について……H-5
本機の時刻をiPhoneの時刻に自動調整する……H-6

ハンズフリー I

ハンズフリーについて……I-2
Bluetoothとは……I-2
ハンズフリーとは……I-2
音声について……I-2
安全上のご注意……I-2
使用上のご注意……I-3
初期登録設定……I-5
携帯電話を登録する……I-5
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する……I-7
携帯電話を切り替える……I-9
登録した携帯電話の自動接続を設定する……I-10
登録した携帯電話の優先接続の設定をする……I-12
車載機(本機)のBluetooth情報を見る……I-13
発着信音量を設定する……I-14
受話音量を設定する……I-15
送話音量を設定する……I-16
パスキーを変更する……I-17
電話を受ける……I-19
着信音量を調整する……I-19
電話に出る……I-19
保留にする……I-20
通話を拒否(終了)する……I-21
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)……I-21
通話を携帯電話に切り替える……I-22
トーン入力する……I-23
電話をかける……I-24
電話番号から……I-24
リダイヤルから……I-26
履歴から……I-27
発着履歴を削除する……I-30

設定 J

音声案内の音量を調整する……J-2
メンテナンス情報を設定する……J-3
設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する……J-4
キー操作音の設定をする……J-5
データを初期化(消去)する……J-6
リアカメラ映像を設定する……J-7
リアカメラ映像を表示する……J-7
ビューの切り替えをする……J-7
リアカメラガイドを表示する……J-8
警告文の位置を下げる……J-9
リアカメラガイドの見かた……J-10
カメラの映像について……J-11
リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)……J-12
時計を調整する……J-13

その他 K

画質調整のしかた……K-2
画質調整を初期値に戻す……K-3
オーディオ リモコン スイッチ……K-4
音声はそのままで画面を消す……K-5
ボタンの照明について……K-5
個人情報の取り扱いについて……K-6
故障かな？と思ったら……K-7
メッセージ表示について……K-17
チャンネル一覧……K-20
用語説明……K-22
初期設定一覧……K-25
別売品（システムアップ）について……K-26
主な仕様……K-27
構成内容……K-28
保証／アフターサービスについて……K-29

さくいん L

さくいん……L-2

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物（実機）と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

A はじめに

安全上のご注意……A-2
お願い……A-5
主な特長……A-10
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について…A-12
本機で再生できるディスク……A-13
ディスクの取り扱いかた……A-15
SDカード／USB機器について……A-16
SDカードの取り扱いかた……A-19
各部の名称とはたらき……A-20

安全上のご注意

● 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

⚠警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

⚠ ：△は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描いてあります。

：⃠は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描いてあるものもあります。

：●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な指示）が描いてあります。

⚠警 告

テレビなどを見たり、本機で操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

車内屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

本機は 12 V車専用です。24 Vの車（トラック・バス・寒冷地仕様のディーゼル車など）では使用しない

24 V車で使用すると火災や故障などの原因となります。

リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する

後退時には直接後方の安全確認をしながら運転してください。

電源コード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない

コード線の電流容量をオーバーし、火災や感電・故障の原因となります。

フィルムアンテナは取付説明書に指示された場所に貼り付ける

視界不良となり事故の原因となることがあります。取付説明書の指示どおりの取り付けをしないと、保安基準の適合として認められないことがあります。また、再貼り付けや汎用の両面テープ等で取り付けないでください。フィルムアンテナがはがれて思わぬ事故の原因となることがあります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する

ショートにより火災や感電、故障の原因となります。

取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカー ワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことを確認する

正常に動かない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。

⚠警告

当商品を分解したり、改造しない
故障の原因となります。
分解禁止

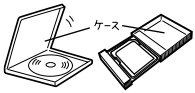
コード類の配線は、高温部を避けて行なう
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災・感電の原因となります。

直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、火傷する可能性があります。

ディスク挿入口に手や指を入れない
けがの原因となることがあります。

本機の電源が入っているとき、または、電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れない
高温のため、やけどの原因となることがあります。
接触禁止

長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておく
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。



安全のため運転者は、走行中に操作しない
また、走行中画面を見るときは、必要最小限にする
前方不注意などにより、思わぬ事故につながる恐れがあります。

運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する
テレビは安全のため走行中は表示されません。

エンジンを停止したままで長時間使用しない
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因になることがあります。

カード類は乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください。
禁止

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

機器内部に、水や異物をいれない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

⚠注 意

音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない
火災の原因となることがあります。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

取り付け(取り外し)や配線は、Honda販売店に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。

お願い

温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約１時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、Honda販売店にご相談ください。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと１時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。
強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなる恐れがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

＜ディスプレイ部の清掃＞

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔かく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。（汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。）濡れたぞうきん・有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

＜本体の清掃＞

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ（車内側）のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。（汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布で拭いてください。）有機溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってからまれに気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両（タクシー・トラック・バスなど）に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に登録した個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理の時などに、本機に登録されていた情報が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

外部接続機器(iPod／USB機器／携帯電話)について

- iPod／USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod／USB機器が接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- 接続する携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

その他

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 当商品を分解したり改造しないでください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になる恐れがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行なってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ラジオやテレビ、FMの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行なってください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げのHonda販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 操作パネルや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。

以下の点にご注意ください。

■本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いては、ライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

■本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

■ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

■本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

■本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

主な特長

AV機能

ラジオ

エリア選局

設定したエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットボタンにメモリーすることができます。☞ C-9

道路交通情報

1620 kHzまたは1629 kHzに合わせることにより道路交通情報を受信することができます。
☞「交通情報を受信する」B-30、C-11

地上デジタル放送(ワンセグ)

地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。

番組表表示

各放送局のテレビ番組表を表示することができます。

音声字幕機能

音声の種類や字幕を表示するように設定することができます。
☞「音声と字幕の設定をする」D-28
※音声の設定は複数音声放送と二重音声放送の場合に有効です。
※字幕の設定は字幕がある番組の場合に有効です。

CD

CD再生

ディスクを挿入して、音楽データを再生し、聞くことができます。☞ B-16、E-1

SD

SD再生

パソコンからSDカードに入れた音楽データを再生し、聞くことができます。
☞ B-16、F-1

その他

リアカメラ対応

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

☞「リアカメラ映像を設定する」J-7

USB対応

別売のUSBメモリーデバイスコードを使用してUSB機器の音楽データを再生することができます。

☞ G-1

オーディオ リモコン スイッチ対応

車両標準装備または別売のスイッチを接続すれば運転中にハンドルについているスイッチでオーディオの操作をすることができます。

☞「オーディオ リモコン スイッチ」K-4

iPhoneの専用アプリ対応

別売のiPhone用接続キットを使用して本機とiPhoneを接続し、Hondaインターナビの専用ナビアプリでルート誘導などのナビゲーションを行うことができます。

☞ H-1

ハンズフリー

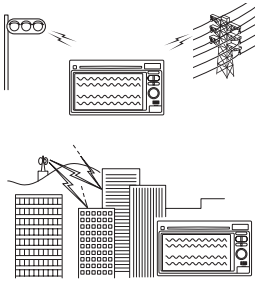
携帯電話を手に持たなくても通話することができます。

☞ I-1

※この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。



・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
・トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
・本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
・携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
・ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

本機で再生できるディスク

CD-R　　CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

⚠注意 すでにディスクが挿入されている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

●下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD-VIDEO
- DVD+R
- DVD-R
- DVD+RW
- DVD-RW
- DVD+R DL
- DVD-R DL
- dts-CD

●CD-R／CD-RWでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。（ただしMP3／WMAは再生できます。）
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3／WMAは☞「ディスクのMP3／WMA音楽再生について」B-4をご覧ください。

●8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

●コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

ディスクレーベル面（印刷面）に マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコンなどで複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。

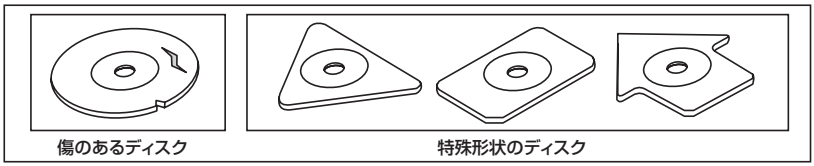
●Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

本機で再生できるディスク

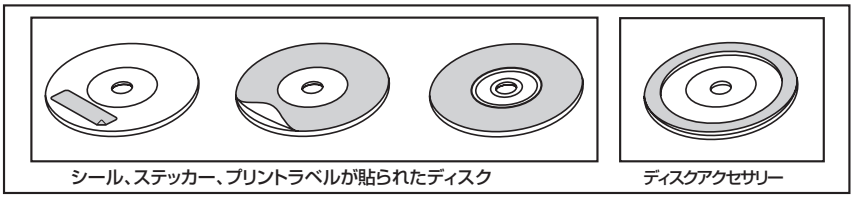
●特殊形状のディスクについて

特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。
本機に使用しますと故障の原因になります。

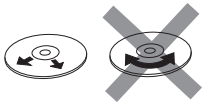


●ディスクのアクセサリーについて

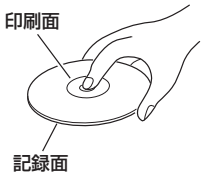
音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー(ディスクリング、保護シール)はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクが反り、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



ディスクの取り扱いかた



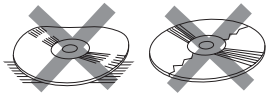
- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。
- 印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。

- 車のエンジンスイッチを0（ロック）時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

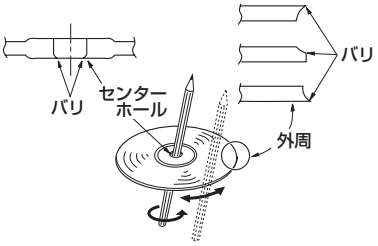
- セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクまた、はがれかけのラベル類、付箋などの紙類が貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、はがれた紙類が製品内部に残ってしまい、本機が故障する原因となります。



- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。

- 反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。

- 取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。

- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。

SDカード／USB機器について

●共通

- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録された“SDカード／USB機器”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 本機にはSDカード、USB機器は付属していません。
  ※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32 GBまでの容量の“SDカード／USB機器”に対応しています。
- USB接続のカードリーダーには対応していません。
  ※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- 本機はUHS-Ⅰには対応していません。
- SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSB機器を破損する原因になります。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSB機器を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージに従って操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- SDカード、USB機器内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSB機器が温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカード、USB機器が不良の場合、正常に動作しない場合があります。

●SDカードについて

- 本書では“SDメモリーカード・SDHCメモリーカード”のことをSDカードと記載しています。
- SDHCロゴは商標です。
- 本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。
  ・SDカード
  ・SDHCカード
  ・miniSDカード*
  ・microSDカード*
  ＊印…専用アダプターが必要です。
  ・miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
  ・本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。
- 本機はSDXCカードには対応していません。
- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。パソコンでのフォーマットはSDカードの性能が十分に出せなくなる場合や正しく動作しない場合があります。また、SDHCメモリーカード以外のSDカードを本機以外の機器からFAT32でフォーマットすると、本機では認識できず、フォーマット(初期化)もできなくなる場合があります。その場合は、パソコンで一度FAT16でフォーマット(初期化)した後、本機でフォーマットをお願いします。
  ☞「データを初期化(消去)する」J-6
  ※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。

- “miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- “miniSDカード”／“microSDカード”をminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- SDカードのデータ読み込み中はカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードの最適化は行なわないでください。
- 読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- SDカード内のデータは圧縮しないでください。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。
- 本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。
- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
  ※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- 本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、反りなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

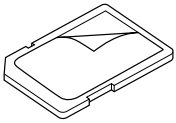
●USB機器について

- USB機器のフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。
- 別売のUSBメモリーデバイスコードに接続してください。
  ※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードでiPodの再生をすることもできます。「iPodを本機に接続する」G-4
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- マスストレージクラスのUSB機器に対応しています。
- パーティションが複数ある機器には対応していません。
- 電流が1000 mAを超える機器には対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求される機器には対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器には対応していません。
- ウォークマン®(USB音楽プレーヤー)には対応していません。
- USB機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USB機器の音楽再生中にUSB機器を外さないでください。
  ※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSB機器を動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSB機器の保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器が接続されているときに、USB機器の上に乗ったり、物を置かないでください。故障の原因となります。

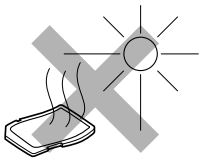
SDカードの取り扱いかた

- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。

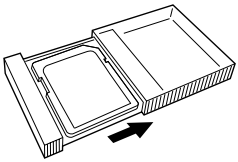
- 変形したSDカードやラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってある“SDカード”は使用しないでください。



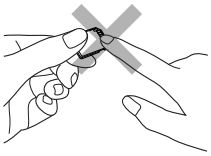
- 直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。“SDカード”が使用できなくなる場合があります。



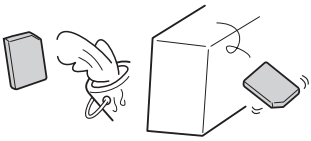
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



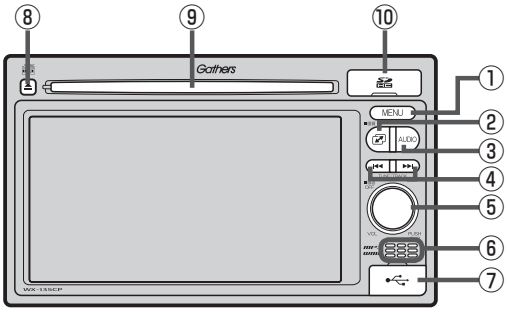
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。



各部の名称とはたらき



① MENU ボタン

MENU画面を表示します。MENU画面で MENU ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

② ボタン

- iPhoneの専用アプリ連携画面、AV SOURCE画面または選択中のオーディオ画面、時計表示画面に切り替えます。
- 長押しすると画質調整画面を表示します。
  K-2

③ AUDIO ボタン

AV SOURCE画面または選択中のオーディオ画面を表示します。
B-16

④ ⏮ / ⏭ ボタン

- 好きな曲／ファイル／放送局を選びます。
  - ・CD／MP3／WMA／SD／USB／iPod
    B-21
  - ・FM／AM C-5
  - ・ワンセグ D-13
- 長押しすると早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
  - ・CD／MP3／WMA／SD／USB／iPod
    B-22
  - ・FM／AM C-5
  - ・ワンセグ D-13

⑤ ◯ ボタン(VOL／PUSH PWR)

- ボタンを押すたびに、オーディオモードをON／OFFします。
  B-19
- 右方向または左方向に回転し、オーディオの音量を調整します。
  B-25
- 2秒以上長押しで画面を消します。
  K-5

⑥内蔵マイク

ハンズフリー機能を使用して、電話を発信または着信後に内蔵マイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。
I-2

⑦USB接続口

カバーを開けると接続口があらわれます。USB／iPodモードを使用する場合、別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPodに付属のUSBケーブルを接続します。
G-4

⑧ ⏏ ボタン(CDイジェクト)

ディスクを取り出すときに使用します。
B-17

⑨ディスク挿入口

ディスクを挿入します。
B-17

⑩SDカード挿入口

カバーを開けてSDカードを差し込みます。
B-18

B

オーディオ／共通

ワンセグについて……B-2
地上デジタルテレビ放送の
チャンネル変更(リパック)について……B-2
ワンセグの番組受信について……B-3
マルチサービスについて……B-3
ワンセグの画像について……B-3
ディスクのMP3／WMA音楽再生について…B-4
SDカードの音楽再生について……B-10
USB機器の音楽再生について……B-12
iPodについて……B-14
iPodとは……B-14
使用上のご注意……B-14
対応可能なiPod……B-15
基本操作……B-16
各モードを選択する……B-16
ディスクを入れる／取り出す……B-17
SDカードを入れる／取り出す……B-18
映像の表示について……B-18
オーディオモードをOFFにする……B-19
設定の保持について……B-19
ページのスクロールについて……B-19
AV SOURCE画面のモードボタンについて…B-20
パネル操作ボタンで選曲する……B-21
早戻し／早送りをする……B-22
リピート／ランダム／スキャン／
シャッフル再生……B-23
音量を調整する……B-25
音質／音量バランスの調整をする……B-26
車速連動音量を設定する……B-28
時計を表示する……B-29
もとの画面に戻す……B-29
交通情報を受信する……B-30

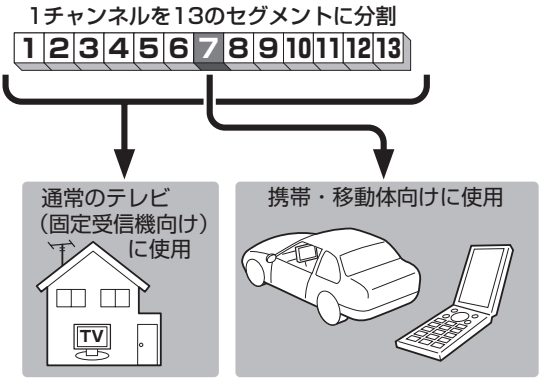
B-2 ワンセグについて

地上デジタルテレビ放送は、地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。ワンセグとは地上デジタルテレビ放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機ではワンセグを見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送やワンセグは、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。

アドバイス 「ワンセグ」サービスの詳細は、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp/



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について

- 2011年8月末より一部の地域を対象として、地上デジタルテレビ放送の周波数資源の再分配や受信障害の解消をおこなうために、地上デジタルテレビ放送の一部チャンネルの周波数変更(リパック)が実施されます。これは総務省が推進する事業で約1年間の期間をかけて対象地域で順次実施されるものです。
  ※ただし、東北地方の岩手県、宮城県については2013年の3月末までに実施されます。
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネルが変更されることで視聴ができなくなった場合、本機で再スキャンする必要があります。(☞ D-11)
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)の情報に関しては下記のホームページをご覧ください。
  http://digisuppo.jp/index.php/repack/#repack-main

ワンセグの番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

マルチサービスについて

「マルチサービス」とは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

ワンセグの画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例)周りが黒く表示される

(例)上下が黒く表示される

(例)左右が黒く表示される

B-4 ディスクのMP3／WMA音楽再生について

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

●再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio*1
対応サンプリング周波数	B-8参照	B-9参照
対応ビットレート*2		

＊1印…
- DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
- Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。

＊2印…
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

●使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
  ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

●ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”／WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
  ※拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名です。
※WMAタグの表示可能文字数は全角、半角ともに32文字です。
※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

●マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

●MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックしますので、通常の音楽CDより時間がかかります。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（飛ばします。）

●MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

●使用できるディスクのフォーマットについて

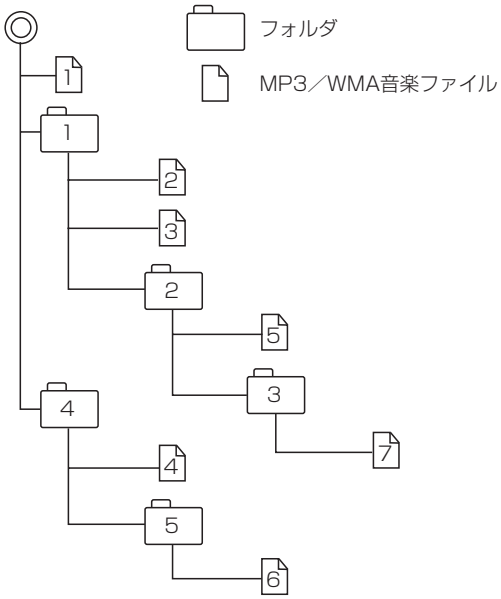
使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(＊)およびレベル2(＊)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。
上記フォーマット(＊)以外で書き込まれたMP3／WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層　：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数　：全角、半角ともに32文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字　：A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1メディア内の最大ファイル数　：255
- 最大フォルダ数　：100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

ディスクのMP3／WMA音楽再生について

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並び替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

●著作権保護がある音楽ファイルについて

本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

※著作権保護とは著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

●MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

●インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。
音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は本機では再生できません。

●音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで、12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)
本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

●CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	−	○
22.050	−	○
24.000	−	○
32.000	○	−
44.100	○	−
48.000	○	−
ビットレート(kbps)		
8	−	○
16	−	○
24	−	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	−	○
160	○	○
192	○	−
224	○	−
256	○	−
320	○	−
VBR	○	○

※VBR…可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

- **表示可能なID3／WMAタグ**
  Song Title、Artist Name、Album Title
  ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。
- **フォルダ番号、トラック番号について**
  演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。
- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで保存されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。

SDカードの音楽再生について

パソコンからSDカードにMP3／WMA／AAC形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

●SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

●MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

●AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。
※MP3／WMAの説明は☞B-4をご覧ください。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAは☞B-8、B-9をご覧ください。AACはサンプリング周波数16～48 kHz、対応ビットレート16～320 kbpsとなります。

※32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64 kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

●操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機　能		SDカード（2GB以下）	SDHCカード（4GB以上）	miniSDカード（アダプター必要）	microSDカード（アダプター必要）
音楽データの再生	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○

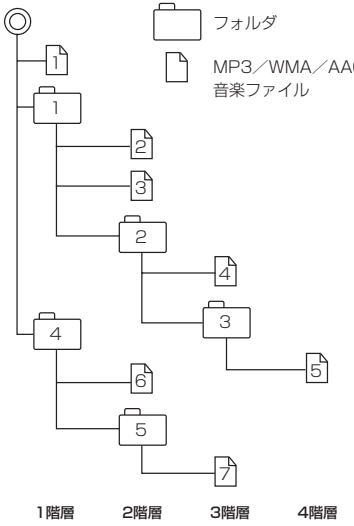
※本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。

●MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示などが正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC（m4a）ファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。

- 再生の順序は、同一のSDカードでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 選曲モード(☞F-4)のフォルダやトラックリストに表示される順番は☞右記「階層と再生順序のイメージ」に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

階層と再生順序のイメージ



●ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名です。
（トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。）
※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

B-12 USB機器の音楽再生について

USB機器を使用して本機で再生することができます。

●MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

●AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3／WMAの説明は☞ B-4をご覧ください。

●MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC（m4a）ファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数：3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。
- 選曲モードのリストに表示される順番は☞「階層と再生順序のイメージ」B-11に従います。
  同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA／AACファイルは再生できません。

●ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。
※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAは☞ B-8、B-9をご覧ください。AACはサンプリング周波数16～48 kHz、対応ビットレート8～320 kbpsとなります。

※32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
※64 kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

iPodについて

iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、本機でiPodの曲を再生することができます。

Made for iPod iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are a trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。
＊印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
  ※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチのⅡ(ON)／0(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod用接続ケーブルをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- iPodはiPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードで再生させます。☞ G-4
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

対応可能なiPod

2012年2月現在

対応モデル	対応可否	バージョン
iPod 第3世代	×	—
iPod 第4世代(クリックホイール)	×	—
iPod photo 含　iPod with color display	×	—
iPod 第5世代(with video)	○	1.3
iPod classic(80G/160G)	○	1.1.2
iPod classic(120G)	○	2.0.1
iPod classic(160G)	○	2.0.4
iPod mini(第1世代)	×	—
iPod mini(第2世代)	×	—
iPod nano(第1世代)	○	1.3.1
iPod nano(第2世代)	○	1.1.3
iPod nano(第3世代)	○	1.1.3
iPod nano(第4世代)	○	1.0.4
iPod nano(第5世代)	○	1.0.2
iPod nano(第6世代)	○	1.2
iPod touch(第1世代)	○	3.1.3
iPod touch(第2世代)	○	4.2.1
iPod touch(第3世代)	○	5.0.1
iPod touch(第4世代)	○	5.0.1
iPhone 3G(softbank)	○	4.2.1
iPhone 3GS(softbank)	○	5.0.1
iPhone 4(softbank)	○	5.0.1
iPhone 4S(softbank/au)	○	5.0.1

○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可)　×：再生不可

最新の適応情報は下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/

アドバイス

- 表に記載したバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- アプリ連携が可能なiPhoneとは異なります。アプリ連携が可能なiPhoneはH-3をご覧ください。
- iPad、iPad2には対応していません。
- iPodは最新のバージョンをアップル社のホームページよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のバージョンでない場合、正しく動作できないことがあります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini／iPod photoには対応していません。
- iPod／iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod／iPhoneを一度リセットしてください。
  リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- バージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様はiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

基本操作

- パネル操作ボタンの詳細は「各部の名称とはたらき」A-20をご覧ください。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とは、FM／AM／CD／MP3／WMA／USB*／SD／ワンセグモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

*印…iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、USBモードでiPodの音楽データを再生させることができます。

各モードを選択する

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、B-16手順 2 へ進んでください。

1 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。(時計表示画面は除きます。)

起動初期画面

(例)CDモード TOP画面

⚠注意 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)の状態(エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 AUDIO を押す。

：AV SOURCE画面または最後のオーディオモード画面が表示されます。最後のオーディオモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度 AUDIO を押してAV SOURCE画面を表示させてください。

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は、挿入または接続してください。

B-17、B-18、G-4

3 操作したいモード(FM／AM／CD／USB／SD／ワンセグ)をタッチする。

：選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

AV SOURCE画面

■ 操作したいモード画面が表示された場合

①☞それぞれの項目をご覧いただき、ご希望の操作を行なってください。

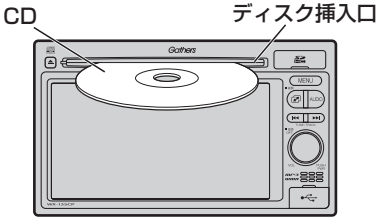
- FM／AM ☞C-1
- SD ☞F-1
- ワンセグ ☞D-1
- USB ☞G-1
- CD／MP3／WMA ☞E-1

※音楽再生をしていた場合は前回の続きから再生を始めます。

ディスクを入れる／取り出す

⚠注意 ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。

1 ディスク挿入口にディスクを挿入する。



■ ディスクを取り出す場合

① ▲(CDイジェクト)を押してディスクを取り出す。

アドバイス

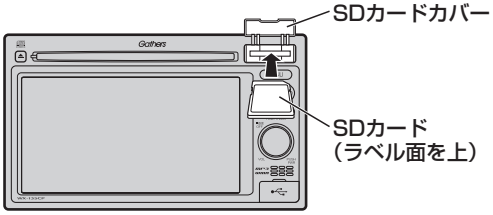
- 長時間ディスクを挿入していると、ディスクが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。
- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- 再生中に車のエンジンスイッチを変更した場合は、次にⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると、前に再生していた続きから再生を始めます。
- ▲(CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。

SDカードを入れる／取り出す

⚠注意
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり機器の故障の原因になります。

1 SDカードカバーを開け、SDカードを“カチッ”と音がするまで差し込む。

：SDモードを選択している場合は再生を始めます。



■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを１回押してから取り出す。

2 SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。

アドバイス
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)して取り出してください。

映像の表示について

⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声のみになります。）

※映像を表示するモードはワンセグとなります。

（例）ワンセグ画面（走行中）

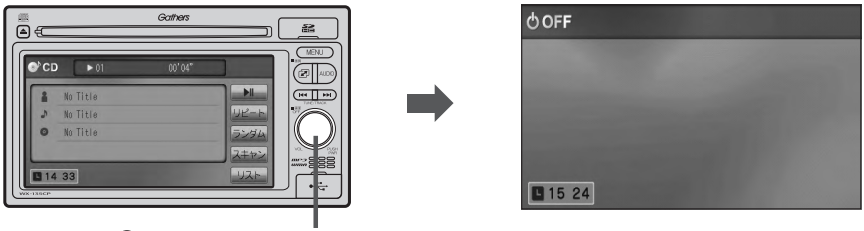
オーディオモードをOFFにする

1 ◯ボタン(VOL／PUSH PWR)を押す。

：画面に“OFF”と表示され、オーディオの各モードを終了します。
もう一度押すと、オーディオモードをONします。

※前回、音楽を再生していた場合は続きから再生を始めます。

(例)CDモード TOP画面



◯ボタン(VOL／PUSH PWR)

設定の保持について

決定 のある画面では、 決定 をタッチすると設定が保持されます。
決定 をタッチしないで 戻る をタッチまたは MENU ／ AUDIO ／ ⎚ を押すと設定は保持されません。
※ 決定 のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。

ページのスクロールについて

次ページがある場合、 ▲ ／ ▼ タッチでページのスクロール(戻し／送り)表示することができます。
※走行中はスクロールできません。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

AV SOURCE画面

選択可能モードはモードをあらわす文字が黒色表示

選択不可能モードはモードをあらわす文字が灰色表示

● CD表示について

ディスク未挿入のとき*1	ディスクを挿入し再生したとき	ディスク再生中にディスクを抜いたとき*2

アドバイス

＊1印…＊2のとき、一度他のモードにすると選択不可(＊1の状態)となります。

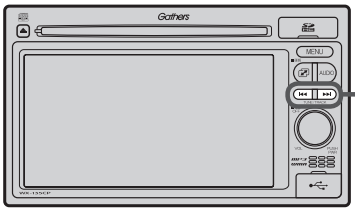
- SDモード／USBモードを使用するにはSDカードを本機に挿入／別売のUSBメモリーデバイスコードを本機に接続し、USB機器を接続しておく必要があります。☞ B-18、G-4
  ※SDカード未挿入／USB機器未接続の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。
- iPodを再生するにはiPod本体に付属されているUSBケーブルに本機とiPodを接続しておく必要があります。☞ G-4

パネル操作ボタンで選曲する

パネル操作ボタンを押して１曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1 **⏮／⏭（トラック*1）を押す。**

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



■ 前のトラックに戻る場合

① **⏮を２回押す。**

※１回押した場合は再生中の曲（トラック）の頭に戻ります。*2

■ 次のトラックに進む場合

① **⏭を押す。**

アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
  - CD／MP3／WMA E-4
  - SD F-4
  - USB G-6
  - iPod G-9

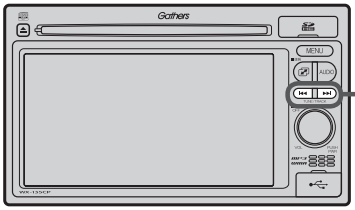
＊１印…FM／AM／ワンセグモードでは選局と呼び名を変えています。
- FM／AM C-5
- ワンセグ D-13

＊２印…CD／MP3／WMAモードのとき、トラック再生開始１秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

1 ⏮／⏭(トラック)を 1.5秒以上押し続ける。

：早戻し／早送りをします。



■ 早戻しで戻る場合

① ⏮を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

① ⏭を押し続ける。

再生状態表示
▶ ：通常再生
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し

(例)音楽再生の場合

アドバイス

- それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。
- FM／AM／ワンセグモードのときに 1 秒以上押すと自動選局を開始します。
  - ・FM／AM C-5
  - ・ワンセグ D-13

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1 再生したいモード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

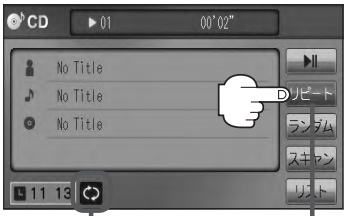
① リピート をタッチする。

：ボタンが点灯し、リピート再生されます。

※ リピート をタッチするごとに
下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有)
↓
通常再生(リピート解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)リピート再生画面



リピート再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① ランダム をタッチする。

：ボタンが点灯し、ランダム再生されます。

※ ランダム をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

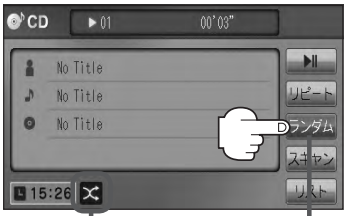
CDの場合

ディスク内の曲をランダム再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有)
↓
通常再生(ランダム解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

MP3／WMAの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有)
↓
通常再生(ランダム解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

SD／USBの場合

今聞いているリストの中からランダム再生
（ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有）

↓

通常再生（ランダム解除）
（ボタン消灯／マーク表示無）

アドバイス ランダム再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。

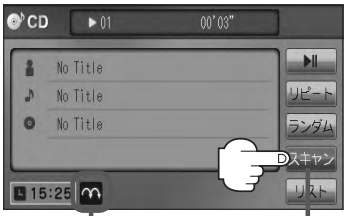
■ スキャン（イントロ）再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

（例）スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

CD／MP3／WMAの場合

ディスク内の曲をスキャン再生
（ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有）

↓

通常再生（スキャン解除）
（ボタン消灯／マーク表示無）

SD／USBの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生
（ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有）

↓

通常再生（スキャン解除）
（ボタン消灯／マーク表示無）

アドバイス スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※USBモード(iPod再生のみ)

① **シャッフル をタッチする。**

：ボタンが点灯し、シャッフル再生されます。

※ シャッフル をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき Track マーク表示有)

⬇

今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき Album マーク表示有)

⬇

通常再生(シャッフル解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)シャッフル再生画面

選択中の再生状態を表示します。　選択時点灯

アドバイス シャッフル再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。

アドバイス
- マーク表示中はそれぞれの再生モードを繰り返します。
- SDモードまたはUSBモードの選曲モード(☞F-5、G-7)で“フォルダリスト”を選択している場合は、選択しているフォルダリストのランダム再生またはスキャン再生となります。

音量を調整する

1 **◯ボタン(VOL／PUSH PWR)を右方向／左方向へ回す。**

右方向：音量が大きくなります。

左方向：音量が小さくなります。

(例)CDモード TOP画面

◯ボタン(VOL／PUSH PWR)

音量を調整すると画面に現在の音の大きさ(0～40)を示すVOLUME(ボリューム)が表示されます。
VOLUME(ボリューム)表示は約3秒間表示されます。

音質／音量バランスの調整をする

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

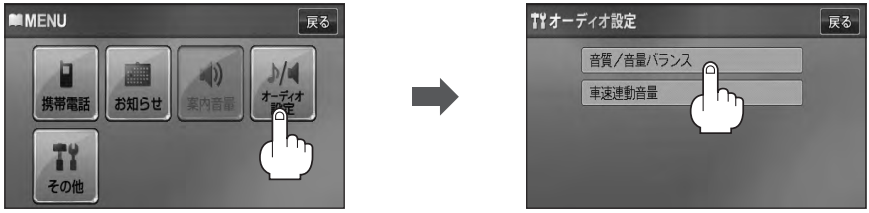
- BASS（バス）：低音域の調整　● TREBLE（トレブル）：高音域の調整
- BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整
- FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモードOFFの場合、音質／音量バランスの調整をすることはできません。

1 MENUを押す。

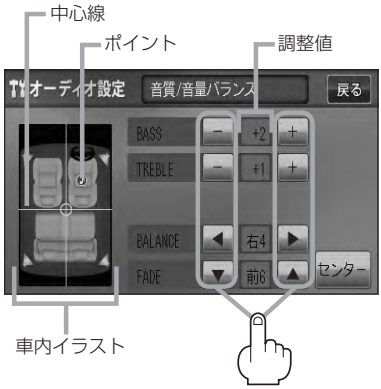
2 オーディオ設定 ➡ 音質／音量バランス をタッチする。

：音質／音量バランス画面が表示されます。



3 調整したい項目（BASS／TREBLE／BALANCE／FADE）の − ／ ＋ または ◀ ／ ▶ または ▼ ／ ▲ をタッチする。

※BALANCEとFADEの場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント（値）を移動させて調整することもできます。



■ BASS（−5〜+5）調整の場合

− をタッチすると低音が弱まり、＋ をタッチすると低音が強まる。

■ TREBLE（−5〜+5）調整の場合

− をタッチすると高音が弱まり、＋ をタッチすると高音が強まる。

■ BALANCE(左9～右9)調整の場合

◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

■ FADE(前9～後9)調整の場合

▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- **センター** をタッチすると“BALANCE(バランス)”と“FADE(フェード)”の値が“0”になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。

ポイントが中心線上に戻ります。

- 調整時に − ／ ＋ ／ ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

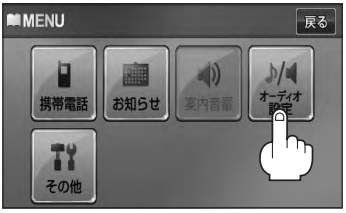
車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

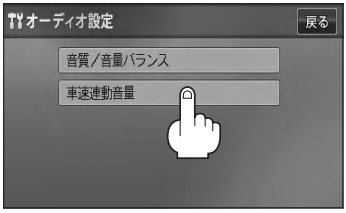
1 MENU を押す。

2 オーディオ設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

：車速連動音量画面が表示されます。



オーディオ設定画面



3 設定したい音量ボタン(LOW ／ MIDDLE ／ HIGH)をタッチする。

：車速(走行速度)に応じて音量変化は
- LOW…小さい
- MIDDLE…HIGHとLOWの中間
- HIGH…大きい

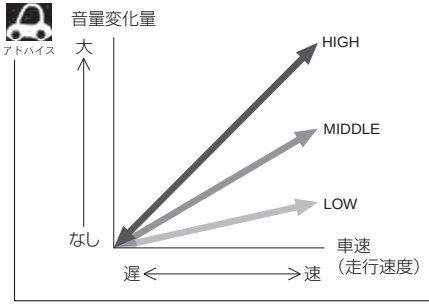
となります。

連動音量

■ 車速連動音量を設定しない場合

① OFF をタッチする。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さくし)ます。
  ※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

時計を表示する

画面全体に時計を表示することができます。

1 **各モードの画面で [ ] を押す。**

：画面全体に時計を表示します。

（例）CDモード TOP画面

[ ] ボタン

もとの画面に戻す

1 **AUDIO を押す。**

：各モードのTOP画面に戻ります。

（例）時計表示画面

AUDIO ボタン

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 各モードの画面で AUDIO を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

アドバイス ラジオモード(FM／AM)から操作する場合は、C-11をご覧ください。

2 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。
※初期状態は1620 kHzに設定されています。

AV SOURCE画面

(例)交通情報画面

■ 周波数の設定を変える場合

① 受信したい周波数(1620 kHz ／ 1629 kHz)をタッチする。

：設定した周波数で道路交通情報を受信します。

3 交通情報の受信を止めるには、戻る をタッチする。

：選択していたモード画面に戻ります。

アドバイス 次回、 交通情報 をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

C
FM／AM(ラジオ)

各部の名称とはたらき……C-2
タッチパネル部について……C-2
表示部について……C-4
FM／AM放送を切り替える……C-4
FM／AMを使う……C-5
選局する……C-5
プリセットボタンにメモリーする……C-9
交通情報を受信する……C-11

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

（例）FMモード TOP画面

（例） FMモード リスト画面
（ **プリセット1** ／ **プリセット2** ボタン選択時）

（例） FMモード リスト画面
（ **エリア** ボタン選択時）

① **リスト** ボタン
エリア設定やプリセットした放送局をリスト表示します。
☞ C-5

② **バンド** ボタン
タッチするたびにAMモード⟷FMモードと切り替わります。☞ C-4

③ **交通情報** ボタン
道路交通情報を受信します。
☞ C-11

④ **プリセット** ボタン(1～6)
1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
☞ C-9(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。
☞ C-6

⑤ **A.SEL** ボタン
1.5秒以上タッチでオートセレクトを開始します。(表示灯点灯)
☞ C-10
※セレクトされた放送局は **プリセット** (1～12)に表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット画面の切り替えとなります。
☞ C-7

⑥ **プリセット1** ／ **プリセット2** ボタン*
ユーザープリセット1(プリセット1)／ユーザープリセット2(プリセット2)を表示します。
☞ C-6

⑦ **エリア** ボタン*
エリア設定した放送局を **エリア表示** (1～12)に表示します。
☞ C-5

⑧ **エリア表示** ボタン(1～12)
エリア選局画面でエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。
☞ C-5
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

⑨ **エリア変更** ボタン
受信状況に応じて、エリアを選びなおします。

アドバイス
＊印…オートセレクト画面(**A.SEL** の表示灯点灯)のとき、 **エリア** ／ **プリセット1** ／ **プリセット2** は表示されません。

表示部について

①FM／AM表示

選択中のバンド(FM放送／AM放送)を表示します。
☞ C-4

②周波数表示

③放送局名表示

※放送局名は、エリア設定した放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

④エリア表示／プリセット表示／オートセレクト表示

※リストから選択したボタン(エリア ／ プリセット1 ／ プリセット2 ／ A.SEL)によって表示は異なります。

- エリア選局 ： エリア 選択時に表示
- プリセット1 ： プリセット1 選択時に表示
- プリセット2 ： プリセット2 選択時に表示
- オートセレクト ： A.SEL 選択時に表示

⑤ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

FM／AM放送を切り替える

1 バンド をタッチする。

：タッチするたびにAM放送 ⇔ FM放送と切り替わります。

(例)FMモード(FM放送) TOP画面

FMモード選択時表示

(例)AMモード(AM放送) TOP画面

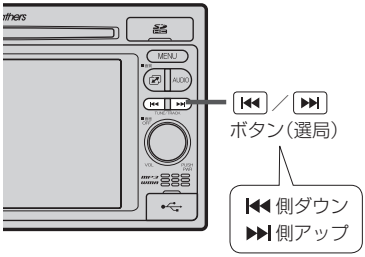
AMモード選択時表示

FM／AMを使う

選局する

手動選局／自動選局／エリア選局／ユーザープリセット選局／オートセレクト選局があります。

1 選局する。



■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① ⏮／⏭(選局)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わります。

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① ⏮／⏭(選局)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に⏮／⏭(選局)を押すと、自動選局は止まります。

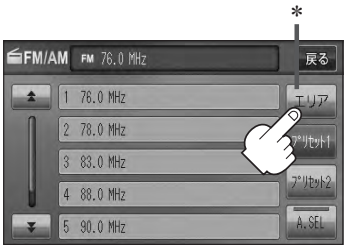
アドバイス
- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると STEREO が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

エリア設定した放送局を呼び出すことができます。

① リスト ➡ エリア をタッチする。

＊印… エリア が エリア変更 に切り替わります。 プリセット1 ／ プリセット2 をタッチすると、 エリア に戻ります。



② エリア変更 をタッチする。

：エリア変更画面が表示されます。

③ 現在地の地方と県域をタッチする。

エリア変更画面(地方選択時)

エリア変更画面(県域選択時)

④ **エリア表示**(1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

エリア表示 ボタン(1～12)

アドバイス

- 地域によっては、実際の放送局と異なる場合があります。
- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** ／ **プリセット2** 、 **A.SEL**)によって異なります。C-8アドバイス参照

■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット**(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「(プリセットボタンにメモリーする)」C-9

① **リスト** ➡プリセットボタン(**プリセット1** ／ **プリセット2**)をタッチする。

：選択中モード(FM／AM)のプリセット表示となります。

② 呼び出したい **プリセット**（1～6）を
タッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

アドバイス
オートセレクト画面を表示している場合は **A.SEL** をタッチして表示灯を消灯し、ユーザープリセット画面に切り替えて手順①を行なってください。
「□オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すとき」
C-8

（例）FMモード リスト画面
ユーザープリセット表示

プリセット ボタン（1～6）

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト（自動でFM／AM各12局までメモリー）した放送局を プリセット（1～12）に表示し、呼び出すことができます。

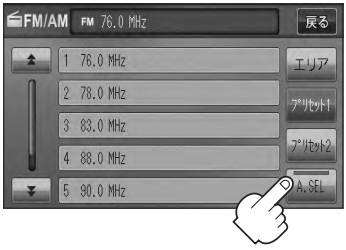
※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。
「■ オートセレクトプリセット（自動メモリー）をする場合」C-10

① **リスト** ➡ **A.SEL** をタッチする。

：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** に表示します。

（例）FMモードTOP画面

（例）FMモード リスト画面*
ユーザープリセット表示



② **プリセット**（1～12）の中で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送局を受信します。

プリセット ボタン（1～12）
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

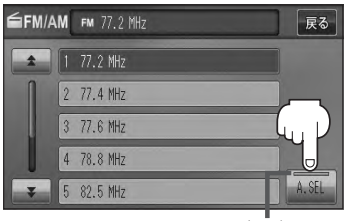
□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すとき

1. **A.SEL** をタッチする。

：表示灯が消灯し、エリア画面／ユーザープリセットに戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト⟷エリア画面／ユーザープリセットと切り替わります。

(例)オートセレクト画面



表示灯

アドバイス

＊印…リスト画面は選択するボタン(**エリア** ／ **プリセット1** ／ **プリセット2** ／ **A.SEL**)によって異なります。C-8アドバイス参照

- **A.SEL** を1.5秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。C-10
- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。

アドバイス

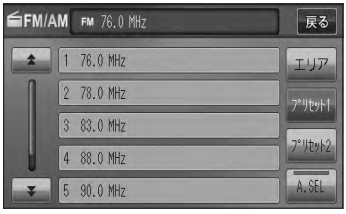
FM／AMモードのリスト画面は選択するボタン(**エリア** ／ **プリセット1** ／ **プリセット2** ／ **A.SEL**)によって異なり、画面が下記のように変わります。

(例)FMモード リスト画面
エリア 選択時
(エリア表示)

プリセット1 ／ **プリセット2** をタッチすると →

← **エリア** をタッチすると

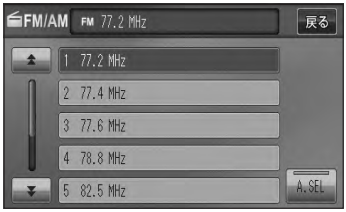
(例)FMモード リスト画面
プリセット1 ／ **プリセット2** 選択時
(ユーザープリセット表示)



A.SEL をタッチして表示灯を点灯すると ↓

A.SEL をタッチして表示灯を点灯すると ↓

(例)FMモード リスト画面
A.SEL 選択時
(オートセレクト表示)



A.SEL をタッチして表示灯を消灯すると ↑

A.SEL をタッチして表示灯を消灯すると ↑

プリセットボタンにメモリーする

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

1 バンドを選ぶ。

☞「FM／AM放送を切り替える」C-4

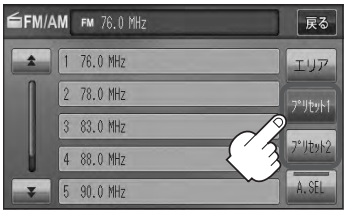
2 リスト ➡メモリーしたいプリセットボタン(プリセット1 ／ プリセット2)をタッチする。

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

※オートセレクトプリセット(自動メモリー)を行なう場合は、 リスト をタッチ後
☞「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合 」C-10へ進んでください。

(例)FMモード TOP画面

(例)FMモード リスト画面



3 プリセットする方法を選ぶ。(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)

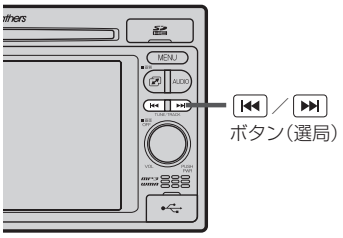
■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、 プリセット (1～6)にメモリーします。

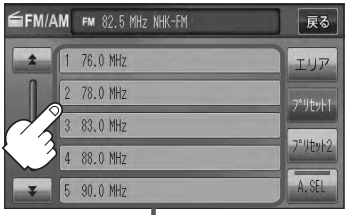
※ プリセット には、FM・AMの各モードでプリセット1／プリセット2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

① ⏮／⏭(選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 」C-5
☞「■ 自動選局で放送局を選ぶ場合 」C-5



② プリセット(1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1～6)

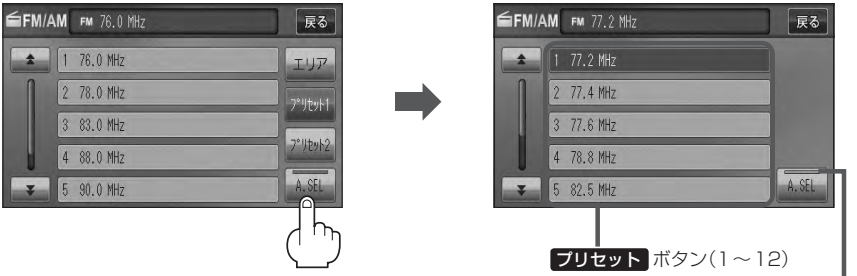
アドバイス
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、 プリセット1 または プリセット2 をタッチし、呼び出したい プリセット (1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
「■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合」C-6

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動でFM／AM各12局まで プリセット にメモリーします。

① A.SEL を1.5秒以上タッチする。

: A.SEL の表示灯が点灯し、受信した放送局を プリセット にメモリー(表示)します。



プリセット ボタン(1～12)

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

アドバイス
- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい プリセット (1～12)を軽く(1秒未満)タッチします。
「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」C-7
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、 A.SEL をタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620 kHzに設定されています。

(例)FMモード TOP画面

(例)交通情報画面

■ エリア／プリセット1／プリセット2／A.SEL画面を表示している場合

① 戻る ➡ 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

FMモード リスト画面
（エリア表示）

■ 周波数の設定を変える場合

① 受信したい周波数(1620 kHz ／ 1629 kHz)をタッチする。

：設定した周波数で道路交通情報を受信します。

2 **交通情報の受信を止めるには、**
戻る をタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- 次回、 交通情報 をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。
- 道路交通情報は、AV SOURCE画面からでも表示できます。
「交通情報を受信する」B-30

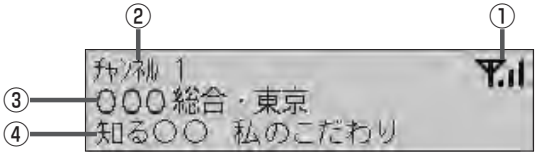
D
ワンセグ

各部の名称とはたらき……D-2
バナー表示について……D-2
タッチパネル部について……D-3
ワンセグメニュー画面について……D-4
ワンセグを見る……D-5
ワンセグモードにすると……D-5
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする…D-6
番組表を見る……D-8
中継局サーチをする……D-10
スキャンする……D-11
初期スキャン／再スキャンをする……D-11
選局する……D-13
手動選局で放送局を選ぶ……D-13
自動選局で放送局を選ぶ……D-13
プリセットで放送局を選ぶ……D-14
リストで放送局を選ぶ……D-15
プリセットボタンにメモリーする……D-18
エリア呼出／プリセット呼出について……D-19
チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する……D-20
設定をする……D-22
時計表示／中継局サーチ設定……D-22
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する……D-24
アンテナ電源の設定をする……D-26
設定を初期化する……D-27
音声と字幕の設定をする……D-28

各部の名称とはたらき

バナー表示について

地上デジタル放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が表示されます。



①電波状態表示

本数が多いほど受信状態は良好です。

②チャンネル番号

③放送局名

※マルチサービスを受信しているときは、放送局名の後ろにサービス番組が表示されます。

④番組名および記号

番組の名称を最大16文字まで表示します。
また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。
(例)

- デ 番組連動データ放送
- 字 字幕放送
- SS サラウンドステレオ音声
- 多 音声多重放送
- 再 再放送
- S ステレオ放送
- 解 音声解説
- 吹 吹き替え
- W ワイド放送 ……など

※記号は放送局側で付けられています。
※上記以外の記号もあります。

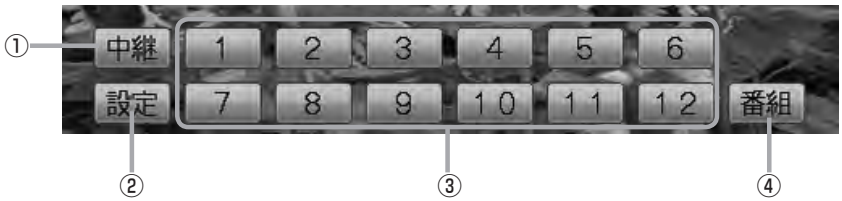
タッチパネル部について

画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が約5秒間表示されます。(下記)
※操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。

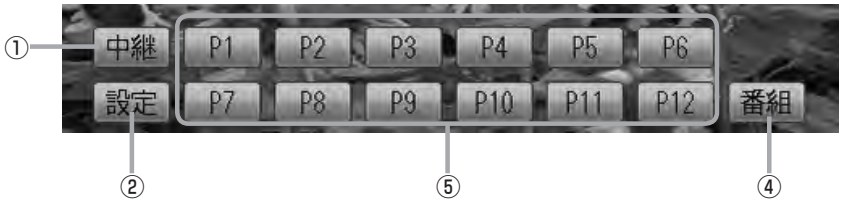
アドバイス
操作ボタンは、ワンセグメニュー画面で選択するボタン(エリア呼出 / プリセット呼出)によって表示内容(機能)が異なります。
「ワンセグメニュー画面について」D-4

操作ボタン

■ エリア呼出 を選択した場合



■ プリセット呼出 を選択した場合



① 中継 ボタン
中継局をサーチします。
D-10

② 設定 ボタン
ワンセグメニュー画面を表示します。
D-4

③ 1 ～ 12 ボタン(エリア)
あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。
D-14

④ 番組 ボタン
番組表を表示します。
D-8アドバイス内

⑤ P1 ～ P12 ボタン(プリセット)
1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
D-18
メモリーしたボタンは P1 ～ P12 の表示から物理チャンネル(13ch ～ 62ch)表示となります。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(約1秒未満)タッチします。
D-14

ワンセグメニュー画面について

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**設定**をタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。ワンセグの各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行ないます。

① **エリア変更** ボタン
視聴エリアを変更します。
D-6

② **チャンネルリスト** ボタン
チャンネルリストまたはプリセットリストを表示します。
D-15、D-20

③ **スキャン** ボタン
初期スキャン／再スキャンをすることができます。
D-11

④ **番組表** ボタン
番組表を表示します。
D-8

⑤ **システム設定** ボタン
各種設定(時計表示、中継局サーチ)、受信レベル確認、アンテナ電源、システム情報の確認をすることができます。
時計表示 D-22
中継局サーチ D-22
受信レベル確認 D-24
アンテナ電源 D-26
システム情報 D-27

⑥ **エリア呼出** ボタン
操作ボタン を表示します。
D-3
表示された **1** ～ **12** (エリア)をタッチしてプリセット(メモリー)されている放送局を呼び出すことができます。(D-19) なお、プリセットされている放送局は、視聴エリアの変更やスキャンなどによって変更されます。

⑦ **プリセット呼出** ボタン
操作ボタン を表示します。
D-3
表示された **P1** ～ **P12** (プリセット)をタッチして手動でプリセット(メモリー)した放送局を呼び出すことができます。(D-18)

⑧ **音声字幕** ボタン
音声設定、字幕設定をすることができます。
(D-28)

⑨ **戻る** ボタン
1つ前の画面に戻ります。

⑩操作状態を表示

ワンセグを見る

⚠ 映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
（走行中は音声のみになります。）

ワンセグモードにすると

中継局サーチの設定で“自動”を選択している場合
☞ D-22参照（初期は自動に設定）

※正しく受信するために、視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。☞「視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする」D-6

D-6 視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

1 画面をタッチし、 設定 をタッチする。

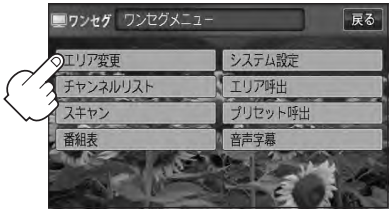
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 現在地の地方と県域をタッチする。

：初期スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

視聴エリア変更画面(地方選択時)

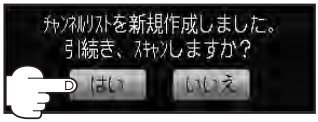
視聴エリア変更画面(県域選択時)

選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて 1 ～ 12 (エリア)にプリセット(メモリー)されます。

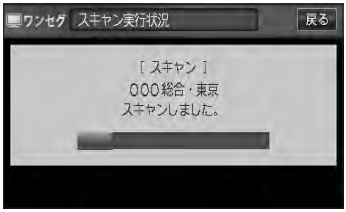
※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

■ スキャンを行なう場合

① **はい** をタッチする。



：初期スキャンを開始します。



※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行なわない場合

① **いいえ** をタッチする。

：初期スキャンをしないで受信画面を表示します。

アドバイス

- 視聴エリア変更後は **はい** をタッチしてスキャンすることをおすすめします。
- 初期スキャンは、チャンネルリストに追加された局の中継局を探索する機能で、チャンネルリストに新しく放送局を追加する機能ではありません。従って現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときには、
☞「■ **再スキャンをする場合** 」D-12を行なってください。

D-8 番組表を見る

受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。

1 画面をタッチし、 設定 をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

アドバイス 画面をタッチし 番組 をタッチして、番組表を直接表示させる方法もあります。

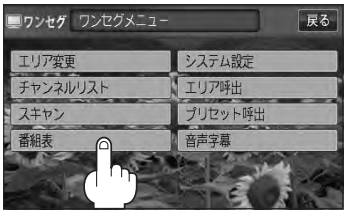
(例)操作ボタン表示画面

番組 ボタン

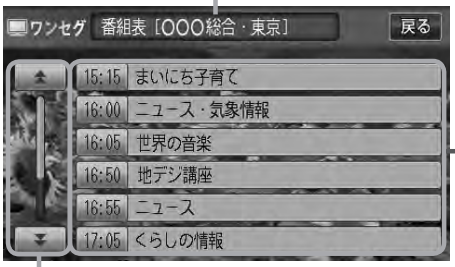
2 番組表 をタッチする。

：番組表が表示されます。

ワンセグメニュー画面



(例)番組表

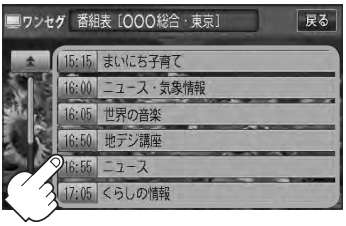


■ 番組表から詳細内容を見る場合

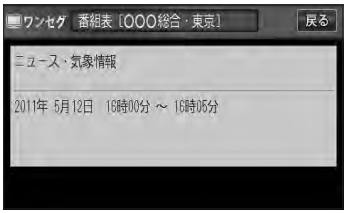
① 番組表(リスト)の中から詳細内容を確認したい番組をタッチする。

：番組詳細画面が表示され、内容が確認できます。

(例)番組表



(例)番組詳細画面



3 番組表を見たら、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 番組表(または番組の詳細内容)を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、表示内容が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルは、正しく表示できない場合があります。
- 他の放送局の番組表を表示したい場合は、受信画面で表示したい放送局を選局しなおす必要があります。

D-10 中継局サーチをする

「中継局」とは、放送局が周波数を変えて(あるいは同じ周波数で)、サービス地域の受信を補償するため、同じ放送内容を再送信する施設のことです。
中継局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。
もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしてサーチ動作を続けます。
※中継局サーチの自動／手動の設定は、
「時計表示／中継局サーチ設定」D-22をご覧ください。

1 自動／手動で中継局をサーチする。

■ 中継局サーチを自動でする場合

：受信できなくなると、自動で中継局をサーチします。

■ 中継局サーチを手動でする場合

① 画面をタッチし、 中継 をタッチする。

：受信状態にかかわらず直ちに中継局をサーチします。

(例)中継局サーチ中画面

アドバイス サーチ中に ⏮ ／ ⏭ (選局)を押す、または 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)をタッチするとサーチは止まり、要求された選局をします。

スキャンする

初期スキャン／再スキャンをする

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 **スキャン をタッチする。**

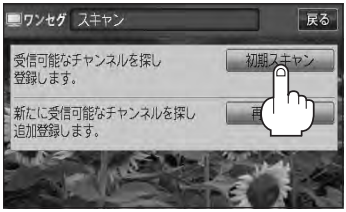
：スキャン画面が表示されます。

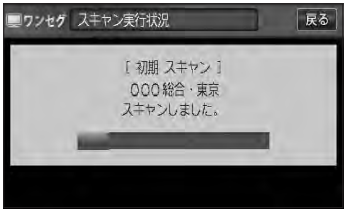
ワンセグメニュー画面

3 **初期スキャン／再スキャンを選択する。**

■ 初期スキャンをする場合

① **初期スキャン をタッチする。**





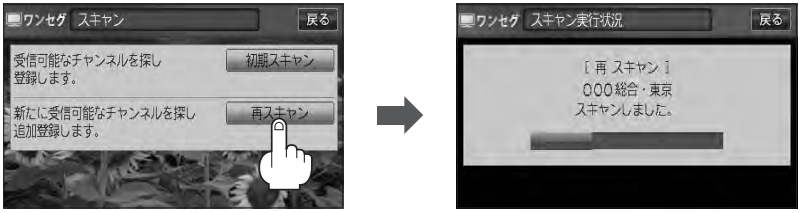
：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

アドバイス 初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときに行ないます。

① **再スキャン** をタッチする。



：新たに受信可能なチャンネルを探し、追加でプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ～ **12** (エリア)にプリセット登録されない番組もあります。

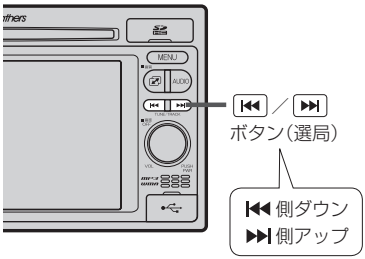
選局する

チャンネルを選びます。（手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局）

手動選局で放送局を選ぶ

1 **⏮／⏭（選局）を押す。**

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



アドバイス
地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局が登録される場合があります。その場合、タッチするたびに放送局が登録されている順に変わります。

自動選局で放送局を選ぶ

1 **⏮／⏭（選局）を１秒以上押す。**

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に⏮／⏭（選局）を押すと、自動選局は止まり、チャンネルリストの中でチャンネル番号の一番若い放送局を選局します。

アドバイス
- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合全チャンネルを一通り選局後、自動選局は止まります。

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が P1 ～ P12 (プリセット)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」D-6
☞「スキャンする」D-11
☞「プリセットボタンにメモリーする」D-18

1 画面をタッチし、 1 ～ 12 (エリア)または P1 ～ P12 (プリセット)の中で呼び出したい数字をタッチする。

：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。

(例) 1 ～ 12 (エリア)に設定している場合

(例) P1 ～ P12 (プリセット)に設定している場合

操作ボタン

アドバイス

＊1印…放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。
＊2印… P1 ～ P12 は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(13ch ～ 62ch)となります。

- 1 ～ 12 (エリア)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その 1 ～ 12 (エリア)をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(☞ D-15)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」(☞ K-20)より確認できます。

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」D-6
「スキャンする」D-11
「プリセットボタンにメモリーする」D-18

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

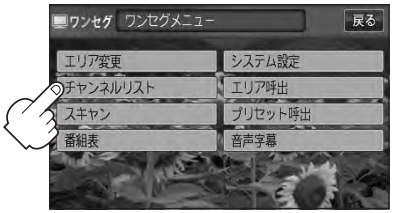
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 **チャンネルリスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面またはプリセットリスト画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出します。**

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

① **チャンネルリスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※すでにチャンネルリスト画面が表示されている場合は手順②(D-16)へ進んでください。

(例)プリセットリスト画面

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

（例）チャンネルリスト画面

エリア番号　放送局名

現在の設定内容（エリア番号と放送局名の組み合わせ）を確認できます。

アドバイス チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」（☞K-20）より確認できます。

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

※すでにプリセットリスト画面が表示されている場合は下記手順②へ進んでください。

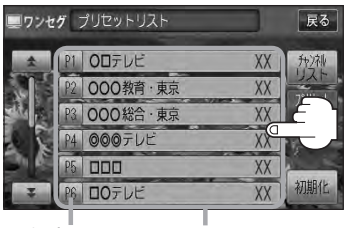
（例）チャンネルリスト画面

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

アドバイス 手順②のとき **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面に戻ります。

（例）プリセットリスト画面



プリセット番号　放送局名と物理チャンネル番号

現在の設定内容（プリセット番号と放送局名の組み合わせ）を確認できます。

アドバイス

- チャンネルリストは操作ボタンの 1 ～ 12 (エリア) にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
  ※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。

(例)チャンネルリスト画面

エリア番号　放送局名

操作ボタン

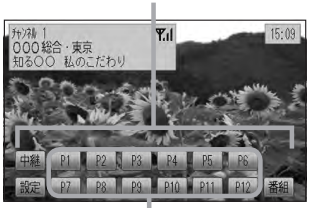
(例) 1 ～ 12 ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタンの P1 ～ P12 (プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。
  *印…物理チャンネル
  D-24

(例)プリセットリスト画面

プリセット番号　放送局名と物理チャンネル番号 (物理チャンネル番号：13 ch～62 ch)
※メモリーされていない場合、リストに表示されません。

操作ボタン



(例) P1 ～ P12 ボタン (プリセット)

プリセットボタンにメモリーする

プリセット選局(☞D-14)やリスト選局(☞D-15)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1 ⏮／⏭(選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「手動選局で放送局を選ぶ」／「自動選局で放送局を選ぶ」D-13

2 画面をタッチし、設定をタッチする。

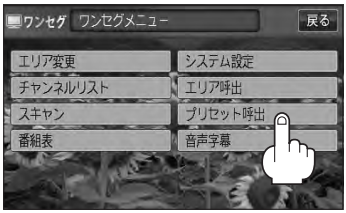
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

3 プリセット呼出をタッチする。

：操作ボタンを表示します。

ワンセグメニュー画面

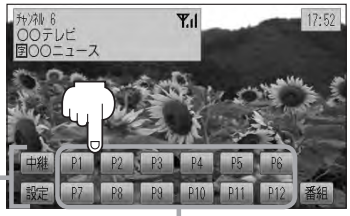


4 メモリーしたいP1～P12(プリセット)を1秒以上タッチする。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※表示はP1～P12から13ch～62ch(物理チャンネル)表示へ変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。



操作ボタン

P1～P12ボタン(プリセット)

P1に31チャンネルをプリセット(メモリー)した場合、P1→31ch表示へと変わります。

アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すにはP1～P12(プリセット)を軽く(1秒未満)タッチします。☞D-14
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- 画面をタッチしたときにP1～P12(プリセット)が表示された場合は、上記手順2、3を省略することができます。

エリア呼出／プリセット呼出について

画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

ワンセグメニュー画面

初期状態は **エリア呼出** が設定されています。

エリア呼出 設定中に

画面をタッチすると

1 ～ **12**（エリア）が表示される

ワンセグメニュー画面

手順 **3**（☞D-18）で **プリセット呼出** が選択されている場合

プリセット呼出 設定中に

画面をタッチすると

P1 ～ **P12**（プリセット）が表示される

※ **1** ～ **12**（エリア）には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。
P1 ～ **P12**（プリセット）には、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。メモリーしたボタンは 13 ch～62 ch（物理チャンネル*）表示に変わります。たとえば **P1** に 31 チャンネルをプリセットすると **P1** は **31ch** 表示になります。
＊印…物理チャンネル ☞D-24

※操作ボタンの表示は最終選択時の状態を保持するため、前回 **エリア呼出** または **プリセット呼出** のどちらを選択したかによって表示が異なります。

チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する

1 画面をタッチし、設定をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

（例）操作ボタン表示画面

2 チャンネルリストをタッチする。

：チャンネルリスト画面またはプリセットリスト画面が表示されます。

※リストの確認だけの場合は、確認終了後 戻る をタッチしてください。

ワンセグメニュー画面

3 チャンネルリストまたはプリセットリストを初期化する。

■ チャンネルリストを初期化する場合

① チャンネルリストをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※すでにチャンネルリスト画面が表示されている場合は下記手順②へ進んでください。

（例）プリセットリスト画面

② 初期化をタッチする。

：チャンネルリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとチャンネルリストが初期化されます。

（例）チャンネルリスト画面

■ プリセットリストを初期化する場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

（例）チャンネルリスト画面

② **初期化** をタッチする。

：プリセットリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、プリセットリストが初期化されます。

（例）プリセットリスト画面

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

設定をする

時計表示／中継局サーチ設定

ワンセグ受信中に時計を表示させるかどうかの設定ができます。また、お車の走行地域が変わって、放送局が受信できなくなった場合、自動で中継局サーチをするかどうかの設定ができます。

「中継局サーチをする」D-10をご覧ください。

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

（例）操作ボタン表示画面

2 **システム設定 をタッチする。**

：システム設定画面が表示されます。

3 **各種設定 をタッチする。**

：各種設定画面が表示されます。

4 時計表示をする／しない、中継局サーチの自動／手動の設定をする。

■ 時計を表示する／しないを選択する場合

□ 時計を表示させるとき

1. **する** をタッチする。

：受信画面で常に表示されます。

□ 時計を表示させないとき

1. **しない** をタッチする。

：時計を表示しません。

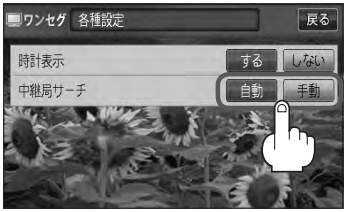
■ 中継局サーチを設定する場合

□ 自動でサーチするとき

1. **自動** をタッチする。

：受信できない状態が一定時間以上続くと、自動で中継局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。



□ 手動でサーチするとき

1. **手動** をタッチする。

：放送局が受信できなくなった場合、“受信できません“とメッセージが表示されます。

※手動で中継局サーチをするには **中継** をタッチします。
「中継局サーチをする」D-10

5 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

（例）操作ボタン表示画面

2 **システム設定 をタッチする。**

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面

3 **受信レベル確認 をタッチする。**

：受信レベル確認画面が表示されます。

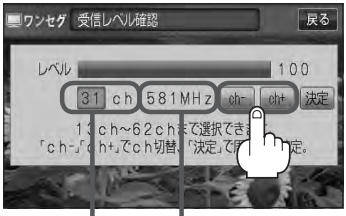
システム設定画面

4 **ch－ ／ ch＋ をタッチする。**

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13 ch～62 chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

（例）受信レベル確認画面

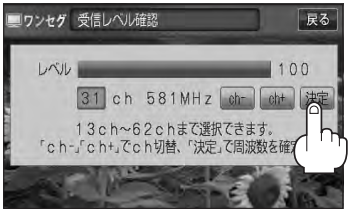


周波数表示

チャンネル表示
（物理チャンネル13 ch～62 ch）

5 決定 をタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)

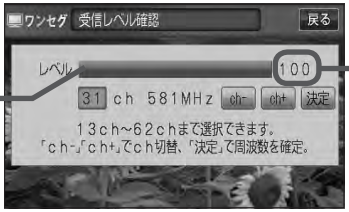


6 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さと数値にて)確認することができます。
- 受信レベルが高くても視聴できるとは限りません。

(例) 受信レベル確認画面



バー表示

MAXを100とし、100に近い程受信状態は安定しています。

アンテナ電源の設定をする

アンテナ電源設定をすることができますが、通常は 電源 入 に設定してください。
電源 切 に設定すると正常に受信できません。

1 画面をタッチし、 設定 をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 システム設定 をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面

3 アンテナ電源 をタッチする。

：アンテナ電源画面が表示されます。

システム設定画面

4 電源 入 をタッチする。

アドバイス

アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合やアンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に 電源 切 に設定されます。
※ 電源 入 に設定できない場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。

(例)アンテナ電源画面

5 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

1 画面をタッチし、**設定**をタッチする。

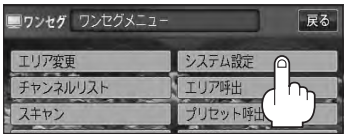
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

（例）操作ボタン表示画面

2 **システム設定**をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



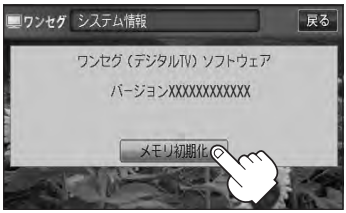
3 **システム情報**をタッチする。

：システム情報画面が表示され現在のバージョン情報が表示されます。

システム設定画面

4 **メモリ初期化**をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**をタッチしていくと設定内容を初期化します。



5 初期化を終えたら、初期化完了のメッセージが表示されるので**OK**をタッチする。

6 設定を終えるには、**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。

お願い

- **初期化中は車のエンジンスイッチを操作しないでください。**
  故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。

音声と字幕の設定をする

数種類の音声が同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。また映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1 画面をタッチし、**設定**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

2 **音声字幕**をタッチする。

：音声／字幕設定画面が表示されます。

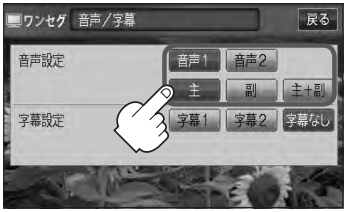
3 音声または字幕の設定をする。

■ 音声の設定をする場合

① **音声1**／**音声2**および**主**／**副**／**主+副**をタッチする。

：タッチした時点でその設定(選択した音声)が確定(決定)されます。

※複数音声放送と二重音声放送の場合に有効となります。

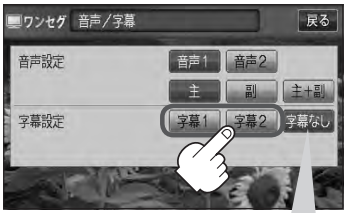


■ 字幕の設定をする場合

① **字幕1**／**字幕2**をタッチする。

：タッチした時点で選択した字幕が確定(決定)されます。

※字幕がある番組の場合に有効となります。



字幕の表示を止めるときは**字幕なし**をタッチしてください。

4 設定を終えるには、**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。

E

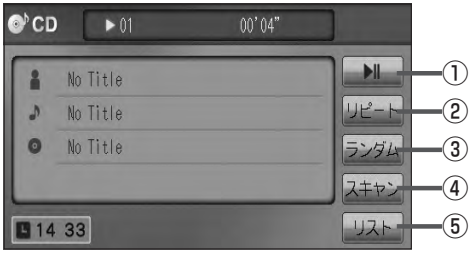
CD／MP3／WMA（CD／CD-R／CD-RW）

各部の名称とはたらき……E-2
タッチパネル部について……E-2
表示部（再生画面）について……E-3
CD／MP3／WMAプレーヤーを使う……E-4
再生を一時停止する……E-4
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる……E-4
好きなフォルダを選ぶ……E-5

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

(例)CDモード TOP画面



(例)MP3モード TOP画面

① **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
E-4

② **リピート ボタン**
現在再生中の曲を繰り返し再生します。
B-23

③ **ランダム ボタン**
曲を順序不同で再生します。
B-23

④ **スキャン ボタン**
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
B-23

⑤ **リスト ボタン**
リストを表示させて選曲することができます。
E-4

⑥ **フォルダ+ ボタン**
次のフォルダに進みます。
E-5

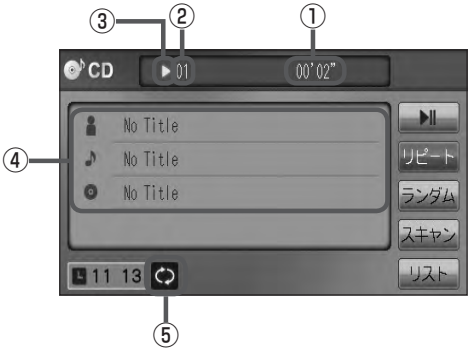
⑦ **フォルダー ボタン**
前のフォルダに戻ります。
E-5

アドバイス

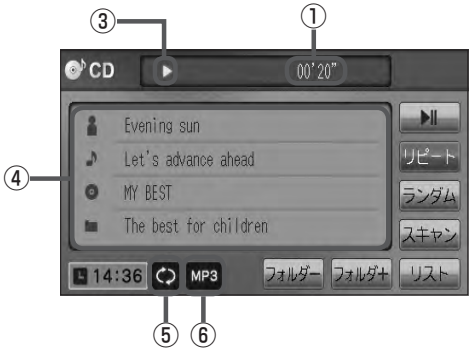
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAのデータが混在する場合は、MP3／WMAデータは再生できません。
- パネル操作ボタンはA-20を参照してください。

表示部(再生画面)について

(例)CDモード TOP画面
(リピート再生時)



(例)MP3モード TOP画面
(リピート再生時)



①再生時間表示

②トラック番号＊1

③再生状態表示

▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し
⏸：一時停止

④タイトル名表示

アーティスト名／トラック名／アルバム名＊1
アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名＊2

⑤リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

※表示内容はB-23をご覧ください。

⑥再生ファイル表示

※WMAモードの場合は WMA となります。

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。
  (本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。＊2
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ※走行中はスクロールしません。
- ディスクにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名／トラック名／アルバム名が表示されます。
  ディスクにCD-TEXT情報がなければ、アーティスト名／トラック名／アルバム名は全て“No Title“と表示されます。(市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。)
- アーティスト名／トラック名／アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title”と表示されます。＊2
- アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

＊1印…CDモードの場合
＊2印…MP3／WMAモードの場合

CD／MP3／WMAプレーヤーを使う

再生を一時停止する

1 **▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。

（例）MP3モード TOP画面

一時停止状態

（例）一時停止状態画面

■ 再び再生を始める場合

① **一時停止中に▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 **リスト をタッチする。**

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル（曲）がトラックリストに表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は、手順 **1** を省略することができます。

（例）MP3モード TOP画面

2 **再生したいトラックをタッチする。**

：選択したトラックが再生されます。

（例）MP3モード トラックリスト画面

アドバイス

- ⏮／⏭を押してトラックを選択することもできます。
B-21

CDモード時のトラックリストについて

- ディスクにCD-TEXT情報があれば、トラックリストにトラック名が表示されます。
- ディスクにCD-TEXT情報がなければ、トラックリストにTRACK 1、TRACK 2、TRACK 3…と表示されます。

MP3／WMAモード時のトラックリストについて

- トラックリストにはトラック名が表示されます。

3 TOP画面に戻るには、戻るをタッチする。

好きなフォルダを選ぶ

※MP3／WMAモードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダー／フォルダ＋をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① フォルダーをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① フォルダ＋をタッチする。

(例)MP3モード TOP画面

F

SD(SDカード)

各部の名称とはたらき……F-2
タッチパネル部について……F-2
表示部(再生画面)について……F-3
SDカードを使う……F-4
再生を一時停止する……F-4
リストより選曲する……F-4
好きなフォルダを選ぶ……F-6

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

① **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
☞ F-4

② **リピート ボタン**
現在再生中の曲を繰り返し再生します。
☞ B-23

③ **ランダム ボタン**
曲を順序不同で再生します。
☞ B-23

④ **スキャン ボタン**
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
☞ B-23

⑤ **リスト ボタン**
リストを表示させて選曲することができます。
☞ F-4

⑥ **フォルダ＋ ボタン**
次のフォルダに進みます。
☞ F-6

⑦ **フォルダー ボタン**
前のフォルダに戻ります。
☞ F-6

表示部(再生画面)について

①再生時間表示

②全曲再生／フォルダ再生の状態を表示

③再生状態表示

▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し
⏸：一時停止

④アーティスト名／トラック名*1／アルバム名／フォルダ名表示

⑤リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

※表示内容はB-23をご覧ください。

⑥再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 ／ WMA ／ AAC

アドバイス

＊1印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ※走行中はスクロールしません。
- パネル操作ボタンはA-20を参照してください。

SDカードを使う

再生を一時停止する

1 **▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。

（例）SDモードTOP画面

一時停止状態

（例）一時停止状態画面

■ 再び再生を始める場合

① **一時停止中に▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより選曲する

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲（トラック）を選択し、再生させることができます。

1 **リスト をタッチする。**

：リスト画面が表示されます。

※すでにリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

（例）SDモードTOP画面

---

2 **リスト内から再生させたい曲（トラック）を選び、タッチする。**

■ 全曲リストから選ぶ場合

① **全曲リスト をタッチする。**

：SDカード内の全ての曲（トラック）が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

② 再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)全曲リスト

■ フォルダリストから選ぶ場合

① フォルダリスト をタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

(例)全曲リスト画面

② フォルダリストから再生させたいフォルダを選び、タッチする。

：フォルダ内の曲リストが表示され、最初の曲が再生されます。

(例)フォルダリスト画面

③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)曲リスト画面

3 TOP画面に戻るには、 戻る をタッチする。

アドバイス

⏮／⏭を押して曲(トラック)を選択することもできます。B-21

好きなフォルダを選ぶ

SDカードの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダー ／ フォルダ＋ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① フォルダー をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① フォルダ＋ をタッチする。

(例)SDモードTOP画面

G

USB／iPod

各部の名称とはたらき……G-2
タッチパネル部について……G-2
表示部（再生画面）について……G-3
接続する……G-4
USB機器を本機に接続する……G-4
iPodを本機に接続する……G-4
iPodを本機に接続すると……G-5
USB機器またはiPodの接続をやめる……G-5
USB機器を使う……G-6
再生を一時停止する……G-6
リストより選曲する……G-6
好きなフォルダを選ぶ……G-8
iPodを使う……G-8
再生を一時停止する……G-8
リストより好きなトラックを選び再生させる……G-9
選曲モードより選択し再生させる……G-10

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

(例)USBモード TOP画面

(例)iPodモード TOP画面

① **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
G-6

② **リピート ボタン**
現在再生中の曲を繰り返し再生します。
B-23

③ **ランダム ボタン**
曲を順序不同で再生します。
B-23

④ **スキャン ボタン**
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
B-23

⑤ **リスト ボタン**
リストを表示させて選曲することができます。
G-6

⑥ **フォルダ+ ボタン**
次のフォルダに進みます。

⑦ **フォルダー ボタン**
前のフォルダに戻ります。

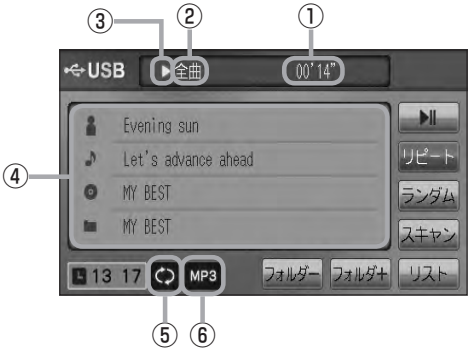
⑧ **シャッフル ボタン**
シャッフル再生をすることができます。
B-23

⑨ **選曲 ボタン**
iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。
G-10

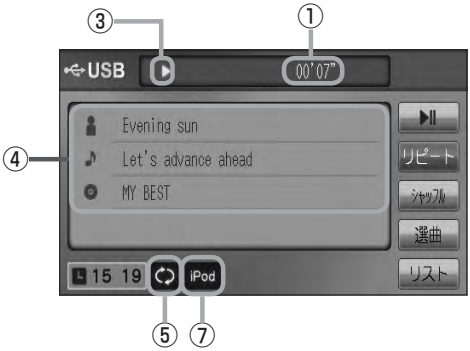
アドバイス
パネル操作ボタンはA-20を参照してください。

表示部(再生画面)について

(例)USBモード TOP画面
(リピート再生時)



(例)iPodモード TOP画面
(リピート再生時)



①再生時間表示

②全曲再生／フォルダ再生の状態を表示

③再生状態表示

▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し
⏸：一時停止

④タイトル名表示

アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名*1
アーティスト名／トラック名／アルバム名*2

⑤再生モード表示

リピート／ランダム／スキャン*1
※表示内容はB-23をご覧ください。
リピート／トラックシャッフル／アルバムシャッフル*2
※表示内容はB-23をご覧ください。

⑥再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。
MP3／WMA／AAC

⑦iPodを接続している場合に表示

アドバイス

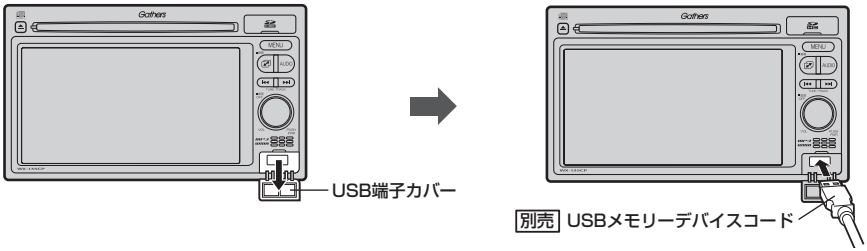
- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- アーティスト名／アルバム名が記録されていない場合は、"No Title"と表示されます。
- トラック名がない場合はファイル名を表示します。*1
- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
  ※タイトル順が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ※走行中はスクロールしません。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では－(ハイフン表示)となります。

＊1印…USBモードの場合
＊2印…iPodモードの場合

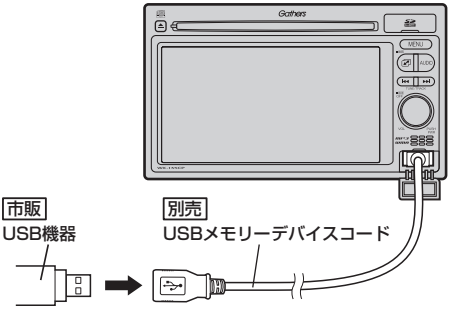
接続する

USB機器を本機に接続する

1 USB端子カバーを開け、別売のUSBメモリーデバイスコードを接続する。

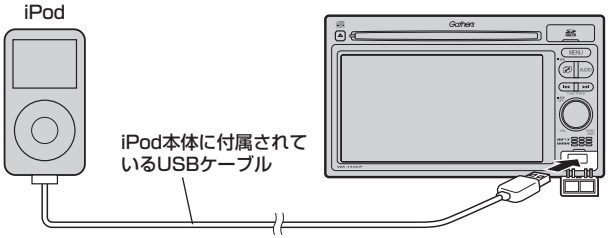


2 別売のUSBメモリーデバイスコードに
USB機器を接続する。



iPodを本機に接続する

1 USB端子カバーを開け、iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続する。



アドバイス

- 本機でiPodを再生させる場合も USB をタッチしてください。B-17
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチ0(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 接続した状態での車のエンジンスイッチを0(ロック)にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。

iPodを本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示され、タッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。

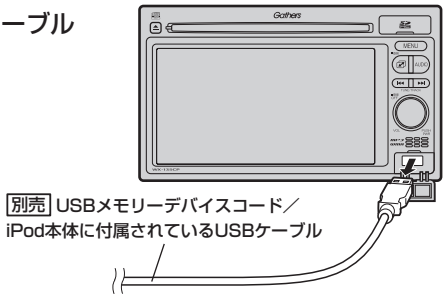
USB機器またはiPodの接続をやめる

1 **◯ボタン(VOL／PUSH PWR)を押す。**

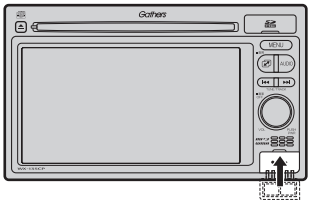
：画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。

※もう一度押すとオーディオモードをONします。

2 **USBメモリーデバイスコード／USBケーブルを外す。**



3 **USB端子カバーを“カチッ“と音がするまではめる。**



アドバイス

- USB機器を外し、再度接続して再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生することがあります。
- **音楽再生中にUSB機器を外すと、データがこわれたりUSB機器が破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。**

USB機器を使う

再生を一時停止する

1 ▶II（再生／一時停止）をタッチする。

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。

■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に ▶II（再生／一時停止）をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより選曲する

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲（トラック）を選択し、再生させることができます。

1 リスト をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

（例）USBモードTOP画面

---

2 リスト内から再生させたい曲（トラック）を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① 全曲リスト をタッチする。

：USB機器内の全ての曲（トラック）が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

② 再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)全曲リスト画面

■ フォルダリストから選ぶ場合

① フォルダリスト をタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

(例)全曲リスト画面

② フォルダリストから再生させたいフォルダを選び、タッチする。

：フォルダ内の曲リストが表示され、最初の曲が再生されます。

(例)フォルダリスト画面

③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)曲リスト画面

3 TOP画面に戻るには、 戻る をタッチする。

アドバイス

⏮／⏭ を押して曲(トラック)を選択することもできます。☞ B-21

好きなフォルダを選ぶ

USB機器の中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダー ／ フォルダ＋ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① フォルダー をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① フォルダ＋ をタッチする。

iPodを使う

再生を一時停止する

1 ▶II (再生／一時停止)をタッチする。

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。

一時停止状態

(例)一時停止状態画面

■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に ▶II (再生／一時停止)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(☞G-10)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ポッドキャスト／ジャンル／プレイリスト／作曲者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 **リスト** をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例)iPodモード TOP画面

2 再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)iPodモード リスト画面

3 TOP画面に戻るには、 **戻る** をタッチする。

アドバイス

⏮／⏭を押して曲(トラック)を選択することもできます。☞B-21

選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1 選曲 をタッチする。

：選曲画面が表示されます。

（例）iPodモード TOP画面

2 選曲画面より選曲する方法（ 全曲 ／ アルバム ／ アーティスト ／ ポッドキャスト ／ ジャンル ／ プレイリスト ／ 作曲者 ）を選択する。

選曲画面

選曲モード

アドバイス

- 選曲モードは、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲画面を選択する前に 戻る をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 をタッチした場合

：全曲のトラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）全曲画面

■ **アルバム** をタッチした場合 ：アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリストが表示とともに曲が再生されます。

（例）アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）トラックリスト画面

■ **アーティスト** をタッチした場合 ：アーティストリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

（例）アーティストリスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。手順②へ

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリストが表示とともに曲が再生されます。

（例）アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）トラックリスト画面

■ **ポッドキャスト** をタッチした場合 ：ポッドキャスト画面が表示されます。

① 再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストを再生します。

(例)ポッドキャスト画面

ポッドキャスト

(例)ポッドキャストリスト画面

■ **ジャンル** をタッチした場合 ：ジャンルリスト画面が表示されます。

① 再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名)をタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

② 再生させたいアーティストをタッチする。

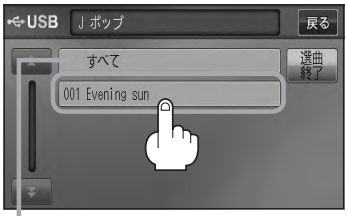
：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

(例)ジャンルリスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

G-13 手順④へ

(例)アーティストリスト画面



すべて をタッチすると手順①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

G-13 手順④へ

③ 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

（例）アルバムリスト画面

すべて をタッチすると手順②（☞G-12）で選択したアーティストのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。☞手順④へ

④ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）トラックリスト画面

アドバイス ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数（表示）はiPod本体に収録されている内容となります。（iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。）

■ プレイリスト をタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

① 再生させたいプレイリストをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

（例）プレイリスト画面

プレイリスト

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）トラックリスト画面

トラック

■ 作曲者 をタッチした場合

：作曲者リスト画面が表示されます。

① 再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

（例）作曲者リスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに すべて をタッチするとiPod内の全曲トラックリスト表示とともに曲が再生されます。☞手順③へ

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

（例）アルバムリスト画面

すべて をタッチすると手順①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリストが表示されます。☞手順③へ

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）トラックリスト画面

3 **設定を終えるには、 戻る または 選曲終了 をタッチする。**

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、選曲終了 をタッチするとTOP画面に戻ります。

H

iPhoneの専用アプリ連携

iPhoneの専用アプリを使う……H-2
安全上のご注意……H-2
アプリサービスの概要……H-2
アプリ連携可能なスマートフォンなど……H-3
連携可能なアプリ……H-3
本機と接続する……H-4
現在地の測位ができない場所について……H-5
本機の時刻をiPhoneの時刻に自動調整する…H-6

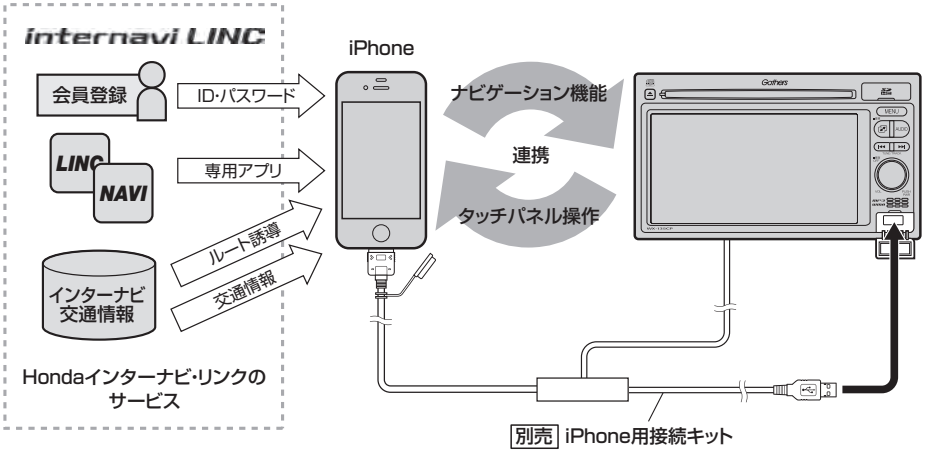
H-2 iPhoneの専用アプリを使う

安全上のご注意

⚠警告
- 運転中の操作や画面を注視することは非常に危険ですのでおやめください。運転中の携帯電話のご使用は法律で禁止されています。本サービスをご利用の場合は、安全な場所に停車して行なってください。
- 本サービスが提供する情報は、参考情報となります。実際の交通規制と異なる場合は、実際の道路状況と交通規制に従って走行してください。
- お客様が本サービス利用中に事故等を起こしても、当社は一切の責任を負いません。

アプリサービスの概要

本機は、Hondaインターナビが提供している専用アプリをインストールしたアップル社のiPhone4、4Sと接続することにより、本機のタッチパネルでの基本機能操作や音声案内など、手軽にナビ機能を追加できます。
専用アプリでは、Hondaインターナビが独自に収集している最新の交通情報に基づく「インターナビ・ルート」誘導機能やリアルタイム気象情報などをご提供します。
また、iPhoneの電源供給も行ないますので、バッテリー残量の心配もありません。



アドバイス
- 本機とiPhoneを連携中、本機から設定可能な目的地は"自宅"、"Myスポット"、"履歴"です。
- 本機とiPhoneを連携中、通話している間はルート案内が停止します。*
- 安全のため、iPhoneは弊社指定の方法で設置し、走行中は操作を行なわないでください。また、降車時は必ずiPhoneを取り外し、車内に放置しないでください。
- iPhoneのアプリ連携中にiPhone標準のミュージックアプリの音楽を楽しむことができます。
- iPhone連携が開始されると、自動で連携画面に切り替わります。
- 機能、画面、デザインなどは、予告なく変更する場合があります。

＊印…連携中のiPhoneをご使用の場合

アプリ連携可能なスマートフォンなど

2012年2月現在

対応モデル	対応可否	iOSバージョン
iPhone 3G(softbank)	×	—
iPhone 3GS(softbank)	×	—
iPhone 4(softbank)	○	4.3.3／5.0.1
iPhone 4S(softbank/au)	○	5.0
iPod touch	×	—
iPad/iPad2	×	—
Android・Windowsなど	×	—

アドバイス

- 表に記載したiOSバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- 音楽再生が可能なiPodとは異なります。音楽再生可能なiPodはB-15をご覧ください。

連携可能なアプリ

本機でナビゲーション機能をお使いいただくためには、iPhoneに専用アプリをあらかじめインストールしておく必要があります。専用アプリのダウンロード、使用方法はインターナビホームページをご参照ください。専用アプリを使用する際には、インターナビ・リンク会員登録と発行されるID、パスワードが必要です。HondaCars店、ホンダオートテラス店にて会員登録(無料)を行なってください。その他のアプリとの連携はできません。

インターナビホームページ
http://www.honda.co.jp/internavi/LINC/
※連携可能なアプリの名称、機能などは予告なく変更される場合があります。

本機と接続する

本機と連携可能なiPhoneの専用アプリを起動し、本機で使用することができます。別売のiPhone用接続キットをお買い求めください。

1 iPhoneを操作して、専用アプリを起動する。

※接続前に目的地検索を行なってください。接続後は操作できる機能が限定されます。

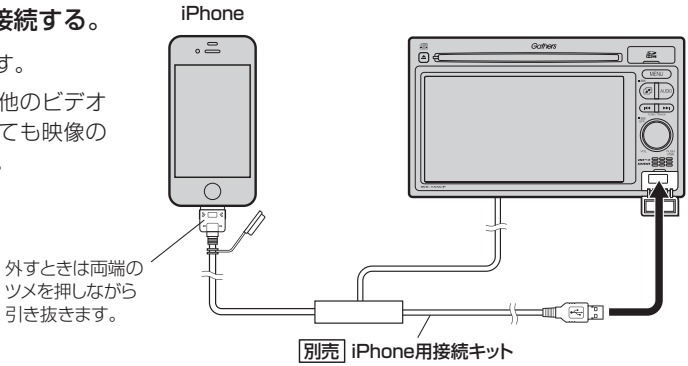
2 [ ] を押して右図画面に切り替える。

[ ] ボタン

3 iPhoneと本機を接続する。

：本機に表示されます。

※ビデオ入力端子に他のビデオ再生装置を接続しても映像の再生はできません。



アドバイス

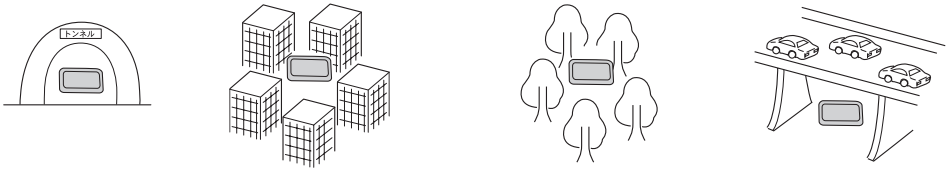
- iPhone専用アプリの音量を調整することができます。操作方法は [ ] J-2をご覧ください。
- iPhone標準のミュージックアプリと専用アプリを同時に起動している場合、音楽と音声案内は、全てのスピーカーから混ざって出力されます。
- iPhone標準のミュージックアプリの音楽再生中に専用アプリを起動または終了した場合、一瞬音声が停止します。
- 本機とiPhoneを連携中、本機またはiPhoneから発信を行なった場合は、通話終了後、専用アプリを再起動してください。*
- 多くのアプリを起動させている状態で専用アプリを使用すると、強制終了する場合があります。不要なアプリをすべて終了させてから専用アプリを起動し、本機とiPhoneを接続してください。
- 専用アプリの設定変更や目的地の検索などを行なう場合は、車を安全に停止させた後、本機とiPhoneの接続を外してから操作してください。
- 専用アプリを使用中に強制終了した場合は、車を安全に停止させてから専用アプリを再起動し、もう一度接続してください。

*印…連携中のiPhoneをご使用の場合

現在地の測位ができない場所について

本機に接続したiPhoneとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。現在地の測位に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。
次のような場所では、GPS衛星からの電波が受信しにくいため、移動してください。

● トンネルの中　● 高層ビルに囲まれたところ　● 樹木の密集したところ　● 高速道路の下など



※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。
- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

アプリ連携時の測位精度は、iPhoneの測位精度に依存します。

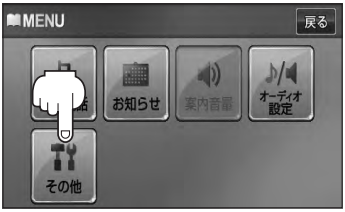
本機の時刻をiPhoneの時刻に自動調整する

専用アプリと連携することで本機の時刻をiPhoneの時刻に自動調整することができます。

1 MENUを押す。

2 **その他** ➡ **時刻調整** をタッチする。

：時刻調整画面が表示されます。



3 “iPhoneアプリ連携時刻自動補正”の **する** をタッチする。

4 専用アプリを起動し、iPhoneと本機を接続する。

：iPhoneの時刻が本機の時刻に表示されます。
秒が0となり、時計が動き始めます。

I

ハンズフリー

ハンズフリーについて……I-2
Bluetoothとは……I-2
ハンズフリーとは……I-2
音声について……I-2
安全上のご注意……I-2
使用上のご注意……I-3
初期登録設定……I-5
携帯電話を登録する……I-5
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する……I-7
携帯電話を切り替える……I-9
登録した携帯電話の自動接続を設定する……I-10
登録した携帯電話の優先接続の設定をする……I-12
車載機(本機)のBluetooth情報を見る……I-13
発着信音量を設定する……I-14
受話音量を設定する……I-15
送話音量を設定する……I-16
パスキーを変更する……I-17
電話を受ける……I-19
着信音量を調整する……I-19
電話に出る……I-19
保留にする……I-20
通話を拒否(終了)する……I-21
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)……I-21
通話を携帯電話に切り替える……I-22
トーン入力する……I-23
電話をかける……I-24
電話番号から……I-24
リダイヤルから……I-26
履歴から……I-27
発着履歴を削除する……I-30

I-2 ハンズフリーについて

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

Bluetoothとは

- 携帯電話と本機をケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりをすることができる無線通信技術のことです。
- ハンズフリーのBluetooth機能を利用するには、初期登録をする必要があります。
  ☞「初期登録設定」I-5
  初期登録後、自動接続“する”の場合は車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にして本機に電源が入ると自動的にBluetooth接続となります。

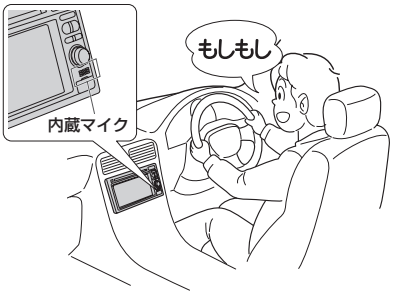
アドバイス 本機にて電話のやりとりをすると通常より携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth®

BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。

ハンズフリーとは

携帯電話を操作することなく画面をタッチすることで「電話を受ける」「電話をかける」などの電話機能が使用できます。これがハンズフリー機能です。



音声について

発信後および着信後は、本機に内蔵のマイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

安全上のご注意

⚠警告
- 安全のため、自動車運転中の携帯電話のご使用はおやめください。法律で禁止されています。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときは、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても通話しなければいけないときは、“ハンズフリー機能”を使用して「かけなおす」ことを伝え、安全な場所に停車してかけなおしてください。
- 電話(本機)を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機はすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth対応携帯電話はBluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth対応携帯電話が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行なえない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行なえないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話および本機を使用する場合、心臓ペースメーカーなど装着部から22 cm以上離して使用してください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与える恐れがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・通話エリア外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは本機に内蔵のマイクを使用して通話します。
  マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に本機の操作を行なった場合、内蔵マイクに直接振動が伝わり、相手に大きな音が伝わる(聞こえる)場合があります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)等を操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行なった場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。

ハンズフリーについて

- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すぐに本製品の使用をやめてお買い上げのHonda販売店へご相談ください。
  3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話と本機以外の機器がBluetooth接続されている場合、本機とBluetooth接続を行なうことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBluetooth接続を切断してください。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、Bluetoothの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行なってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

アドバイス
携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種は、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/

初期登録設定

“Bluetooth対応携帯電話”を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

- 下記手順を行なう前にあらかじめ携帯電話側のBluetoothが使用できるよう設定してください。
  ※設定方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲のBluetooth機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

1 MENU を押し、**携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **携帯電話機器登録** をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※登録されている携帯電話が2台ある場合 **携帯電話機器登録** は選択できません。

携帯電話設定画面

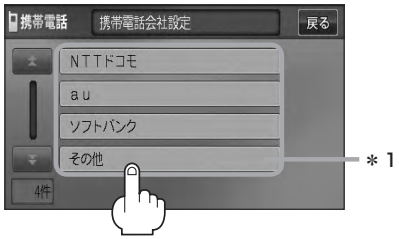
3 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※携帯電話の会社名を選択することで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行なわれます。

：接続待機中画面が表示されます。

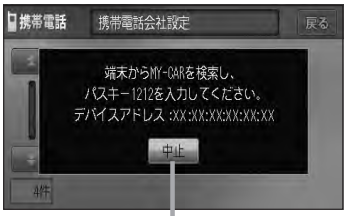
※携帯電話側を操作し、ハンズフリーとして登録を行ないます。操作方法は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話会社設定画面



＊2

接続待機中画面



※接続待機中に **中止** をタッチすると接続を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

■ パスキーの入力が不要な場合

登録する携帯電話の仕様(Bluetooth Ver2.1 以降)によっては、パスキーの入力が不要な場合があります。(セキュア・シンプル・ペアリング機能)

① 接続待機中画面から右記画面に表示が替わった場合、携帯電話に表示されている数字と、本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチする。

：登録が完了します。

アドバイス

＊1印…ご使用の携帯電話がドコモ／au／ソフトバンク以外の場合、 **その他** を選択してください。本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/

＊2印…すでに登録済(Bluetooth接続済)の携帯(番号)がある場合、その携帯(Bluetoothの接続)を切断するかどうかのメッセージが表示されるので“はい”を選択してください。

※“はい”を選択すると現在接続中の携帯との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選択した場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、Bluetoothに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられてます。パスキーの入力はこの制限時間内に行なってください。
- パスキーとは、“Bluetooth対応携帯電話”を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称等で判断してください。

「車載機(本機)のBluetooth情報を見る」I-13

4 設定を終えるには、**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 携帯電話の詳しい操作方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行なうことができます。
- 着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

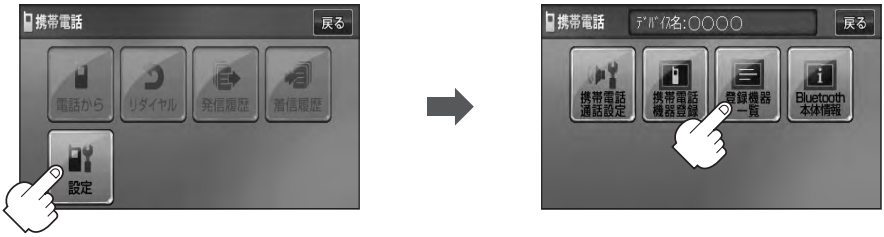
1 MENU を押し、**携帯電話**をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **登録機器一覧**をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。



3 詳細情報を見るまたは削除する。

■ 詳細情報を見る場合

① 詳細情報を見たい携帯電話の **詳細** をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

（例）携帯電話登録一覧画面

（例）詳細情報画面

対応サービスとは登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。

登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。
（※パスキーの数字は表示されません。）
※お手持ちの携帯電話の名称（デバイス名）に絵文字を使用している場合、本機では“_”（アンダーバー）で表示されます。
※本機に表示される名称（デバイス名）は登録時のものとなります。携帯電話側で名称（デバイス名）を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。
※自局番号（携帯電話の電話番号）が取得できた場合には、その番号も表示します。（取得できなかった場合には“ー”（ハイフン）で表示されます。）

■ 削除する場合

① 削除したい携帯電話の **削除** をタッチする。

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話を削除し、携帯電話設定画面に戻ります。

（例）携帯電話登録一覧画面

アドバイス
2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

4 設定を終えるには、 **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス
安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話を切り替える

接続可能な携帯電話を切り替えます。
※Bluetooth接続できる携帯電話機は1台です。

1 MENU を押し、**携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。
※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。

携帯電話設定画面

3 **切り替えたい携帯電話の 接続する をタッチする。**

：メッセージを表示しBluetooth接続する携帯電話が切り替わります。

接続する携帯電話がない場合も切り替えはできますが、接続相手の携帯がいないのでアイコンは表示されません。

（例）携帯電話登録一覧画面

4 **設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。**

アドバイス
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

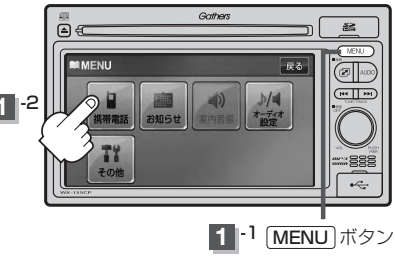
登録した携帯電話の自動接続を設定する

携帯電話を登録している場合、本機起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。

※初期設定は“する”に設定されています。

1 MENU を押し、携帯電話 をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。



2 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。

携帯電話設定画面

3 自動接続の設定をする。

■ **する** をタッチした場合

：本機起動時に本機と携帯電話を自動で接続します。

■ **しない** をタッチした場合

：本機起動時に本機と携帯電話を自動接続しません。

※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行なわれた場合は接続を行ないます。

(例)携帯電話登録一覧画面

“する”に設定した場合、

起動時にメッセージが表示されます。

4 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス
- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBluetooth接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、本機起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

1 MENU を押し、**携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。

携帯電話設定画面

3 優先したいほうの **優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にしたときより設定が有効となります。

※ I-10手順 **3** で自動接続をしない設定にすると **優先する** は選択できません。

(例)携帯電話登録一覧画面

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

車載機(本機)のBluetooth情報を見る

携帯電話に登録した車載機(本機)の情報を削除してしまったときなど、車載機(本機)のBluetooth情報を見たいときに使用します。

1 MENUを押し、**携帯電話**をタッチする。

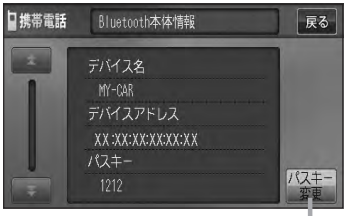
：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定**➡**Bluetooth本体情報**をタッチする。

：Bluetooth本体情報画面が表示されます。

携帯電話設定画面

(例)Bluetooth本体情報画面



パスキー変更ボタン
パスキーの変更をすることができます。
「パスキーを変更する」I-17

3 設定を終えるには、**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス
安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

発着信音量を設定する

発信音量と着信音量の大きさ(+1～+15)を設定することができます。

1 MENU を押し、**携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

携帯電話設定画面

3 **－** ／ **＋** をタッチして音量を設定する。

■ **－** をタッチした場合

：発着信音量が小さくなります。

■ **＋** をタッチした場合

：発着信音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信中に調整することもできます。「**着信音量を調整する**」I-19

受話音量を設定する

通話先相手の声の大きさ(+1～+15)を設定することができます。

1 MENU を押し、**携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

携帯電話設定画面

3 **－** ／ **＋** をタッチして音量を設定する。

■ **－** をタッチした場合

：受話音量が小さくなります。

■ **＋** をタッチした場合

：受話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 受話音量はできるだけ小さく設定してください。エコーが出ることがあります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 通話中に調整することもできます。☞ I-25

送話音量を設定する

相手に聞こえる自分の声の大きさ(+1 ～+7)を設定することができます。

1 MENU を押し、**携帯電話** をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

携帯電話設定画面

3 **－** ／ **＋** をタッチして音量を設定する。

■ **－** をタッチした場合

：送話音量が小さくなります。

■ **＋** をタッチした場合

：送話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信中／通話中に調整することもできます。I-19

パスキーを変更する

パスキーとは、Bluetooth対応携帯電話を本機に登録するときに使用するパスワードです。
(☞「携帯電話を登録する」I-6手順 3 参照)お互いのパスワードが一致して初めて通信(接続)可能となります。そのパスキーを変更したい場合は、下記手順に従って操作してください。

1 MENU を押し、携帯電話 をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

2 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

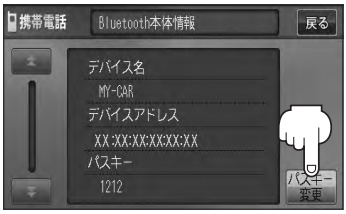
：Bluetooth本体情報画面が表示されます。

携帯電話設定画面

3 パスキー変更 をタッチする。

：パスキー変更画面が表示されます。

(例)Bluetooth本体情報画面



4 **◀訂正** をタッチして変更したい数字を削除する。

※全ての数字を削除する場合は、 **◀訂正** を長めに
タッチしてください。

パスキー変更画面

5 10キーボタン(**0** ～ **9**)をタッチして、
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。

：Bluetooth本体情報画面に戻ります。

6 設定を終えるには、 **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 上記手順 **5** で **決定** をタッチしないで MENU ／ AUDIO ／ ⏏ を押したり、 **戻る** をタッチした場合は設定が保存されません。
- 入力した数字を訂正するときは **◀訂正** をタッチして数字を再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

電話を受ける

⚠警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
（通話時間は目安としてください。）
※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。
（99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。）

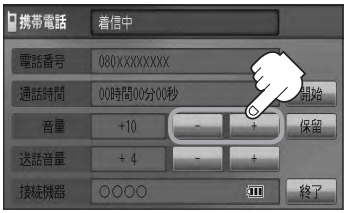
電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1 **着信音が鳴っているときに、－／＋をタッチして音量を調整する。**

（例）着信通知画面



■ **－をタッチした場合**

：着信音量が小さくなります。

■ **＋をタッチした場合**

：着信音量が大きくなります。

アドバイス 携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。
「発着信音量を設定する」I-14

電話に出る

1 **開始をタッチする。**

：通話可能となります。

アドバイス
- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されている場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。
「受話音量を設定する」I-15
- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

（例）着信通知画面

通話中に－／＋をタッチすると送話音量が増減します。
（相手に聞こえる自分の声の大きさの調整）

保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、保留をタッチする。

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。

(例)着信通知画面

アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に終了をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行なうためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
  ※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

■ 通話できる状態になった場合

① 通話をタッチする。

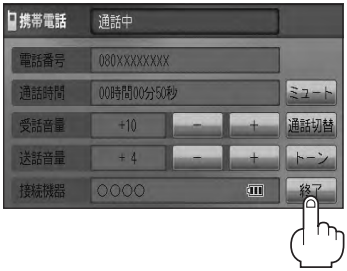
：通話可能となります。

(例)着信保留画面

② 通話が終わったら、終了をタッチする。

：電話が切れます。

(例)通話中画面

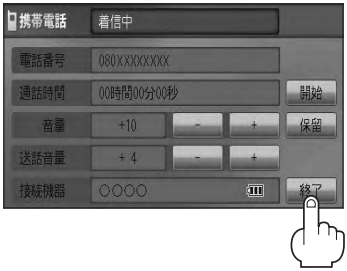


アドバイス 通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。

通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)
ことができます。

(例)着信通知画面



1 **着信通知画面で 終了 をタッチする。**

：かかってきた相手と電話を接続することなく
電話が切れます。

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。
※相手の声は聞こえます。

1 **着信通知画面で 開始 をタッチして、通話しているときに ミュート をタッチする。**

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)

(例)着信通知画面

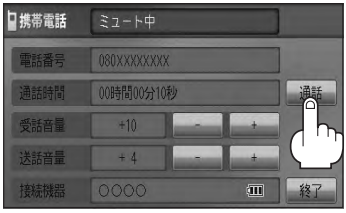
(例)通話中画面

■ 再びこちらの音声を出す場合

① **通話** をタッチする。

：自分の声が相手に聞こえます。

(例)ミュート中画面



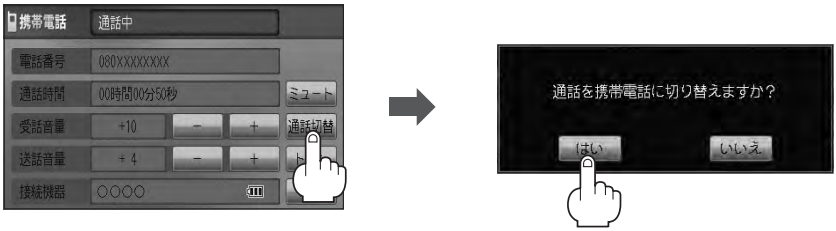
通話を携帯電話に切り替える

ハンズフリー通話から携帯電話での通話へ切り替えます。

1 通話中画面で **通話切替** をタッチする。

：切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、通話を携帯電話に切り替えます。

（例）通話中画面

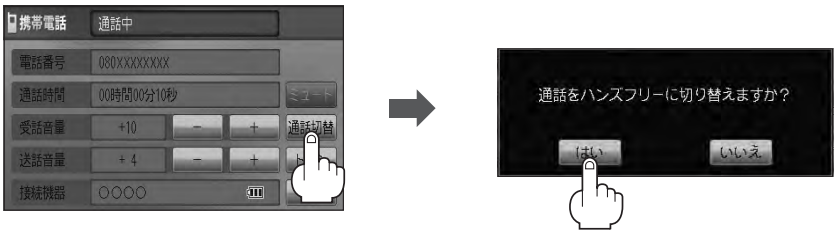


■ 通話を本機に戻す場合

① 通話中画面で **通話切替** をタッチする。

：ハンズフリー通話に切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、通話をハンズフリー通話（本機）に切り替えます。

（例）通話中画面



トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービス等で利用することができます。

1 通話中画面で **トーン** をタッチする。

：トーン入力画面が表示されます。

（例）通話中画面

2 入力したい番号を10キーボタンをタッチして入力する。

トーン入力画面

アドバイス

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ入力することができます。

電話をかける

⚠警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。(通話時間は目安としてください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法(電話番号／リダイヤル／履歴)で電話をかけることができます。

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1 MENU を押す。

2 **携帯電話** ➡ **電話から** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

携帯電話設定画面

＊1印…ボタンをタッチした後、携帯電話から電話番号を入力するのではなく、本機から相手側の電話番号を入力してください。
☞下記手順 3

3 相手先の電話番号を入力し、 **発信** をタッチする。

：入力先(相手先)に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、22桁まで表示します。入力した番号が23桁以上の場合、発信してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** ／ **いいえ** を選択してください。

※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、発信できないことがあります。この場合携帯電話側の仕様をご確認ください。

電話番号入力画面

- **入力した数字を1つ訂正する場合**
  ◀訂正 をタッチする。
- **全ての数字を訂正する場合**
  ◀訂正 を長めにタッチする。

アドバイス

発信中画面で

音量の **−** ／ **＋** をタッチすると、発信中の音（呼び出し音）の大きさを調整することができます。

（例）発信中画面

終了 をタッチすると発信を中止することができます。

4 通話が終わったら **終了** をタッチする。

：電話が切れます。

（例）通話中画面

通話中に **−** ／ **＋** をタッチすると受話音量が増減します。（通話先相手の声の大きさの調整）

アドバイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない（電話に出てない）が、本機の画面では通話中となります〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ **電話から** を選択（I-24手順 **2** ）することができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は、I-22を参考にしてください。

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけなおすときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

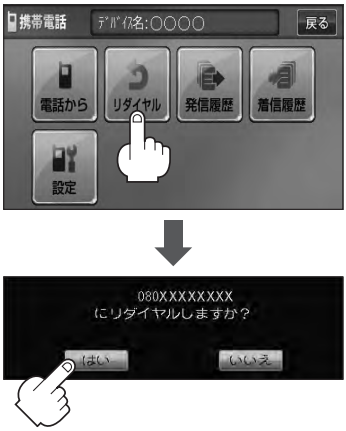
1 MENU を押す。

2 **携帯電話** ➡ **リダイヤル** をタッチする。

：リダイヤル発信するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択してください。

携帯電話画面

携帯電話設定画面



アドバイス 発信履歴がない(どこにもかけてない)場合 **リダイヤル** は選択できません。

履歴から

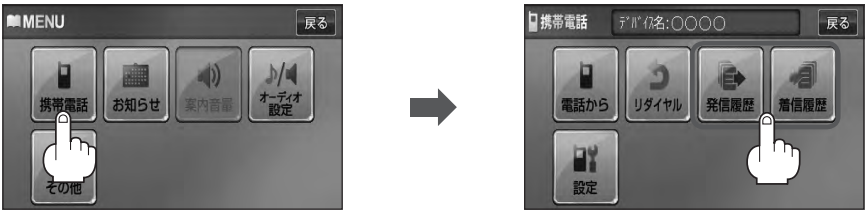
発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1 MENU を押す。

2 携帯電話 ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

※発信／着信履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選択できません。

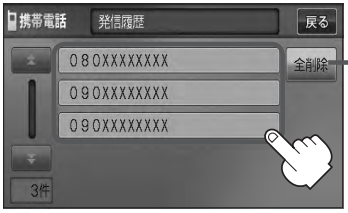


■ 発信履歴からかける場合

電話をかけるとかけた相手の電話番号が発信履歴に自動的に登録されます。
登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の番号をタッチする。

(例)発信履歴リスト画面



全削除 をタッチし、はい を選択すると発信履歴を一括で削除することができます。
☞ I-30

アドバイス
- リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 携帯電話本体を操作して発信を行なった場合には、本機の発信履歴には保存されません。

② **発信** をタッチする。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると
選択した発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

(例)発信履歴詳細画面

削除 をタッチし、 **はい** を選選択すると
選択中の発信履歴を削除することができます。
※全ての発信履歴を一括で削除することもできます。
「発着履歴を削除する」I-30

※発信中画面(I-25のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面
(I-25の手順 **4** 参照)になります。

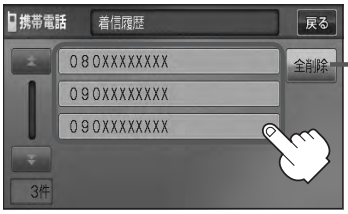
■ 着信履歴からかける場合

**電話がかかってくると、かかってきた相手の電話番号が着信履歴に自動的に登録されます。
登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。
ご使用中の携帯電話の機種によっては着信番号が表示されないで非通知と表示される場合もあります。**

① リストの中からかけたい相手の番号を選択する。

：着信履歴詳細画面が表示されます。

(例)着信履歴リスト画面



全削除 をタッチし、
はい を選択すると着信履歴を一括で削除します。
I-30

アドバイス
- 着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知と表示されます。
  また、非通知の場合選択する(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

② **発信** をタッチする。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると
選択した着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

(例)着信履歴詳細画面

削除 をタッチし、 **はい** を選択すると
選択中の着信履歴を削除することができます。
※全ての着信履歴を一括で削除することもできます。
「発着履歴を削除する」I-30

※発信中画面(I-25のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(下記)になります。

3 通話が終わったら、 **終了** をタッチする。

：電話が切れます。

(例)通話中画面

アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- **戻る** をタッチすると１つ前の画面に戻ります。

発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

1

MENU を押す。

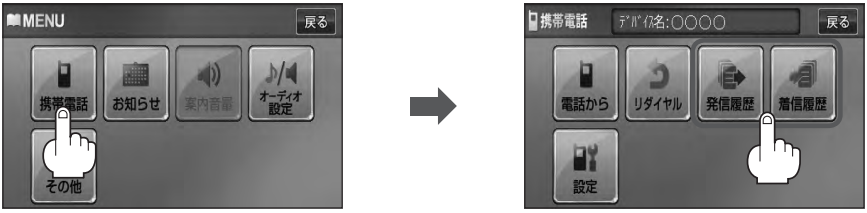
2

携帯電話 ➡ **発信履歴** ／ **着信履歴** をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

※発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** ／ **着信履歴** は選択できません。

携帯電話設定画面

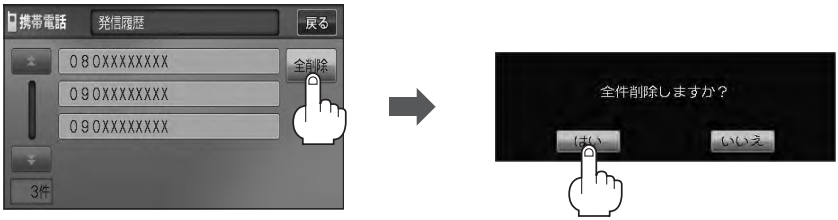


3

全削除 をタッチする。

：全件削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、発信または着信履歴を一括で削除し、携帯電話画面に戻ります。

（例）発信履歴リスト画面



J
設定

音声案内の音量を調整する …… J-2
メンテナンス情報を設定する …… J-3
設定したメンテナンス情報のお知らせを
止める／消去する …… J-4
キー操作音の設定をする …… J-5
データを初期化（消去）する …… J-6
リアカメラ映像を設定する …… J-7
リアカメラ映像を表示する …… J-7
ビューの切り替えをする …… J-7
リアカメラガイドを表示する …… J-8
警告文の位置を下げる …… J-9
リアカメラガイドの見かた …… J-10
カメラの映像について …… J-11
リアカメラの次回表示ビュー設定
（リアワイドカメラ接続時のみ） …… J-12
時計を調整する …… J-13

J-2 音声案内の音量を調整する

iPhoneの専用アプリと連携しているときのみiPhoneの音量を調整することができます。

1 MENU を押す。

2 案内音量 をタッチする。

：音量設定画面が表示されます。

3 − ／ ＋ をタッチして、
お好みの音量に調整する。

4 戻る をタッチする。

アドバイス 専用アプリの音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。ただし、iPhone標準のミュージックアプリと専用アプリを同時に起動している場合は、音楽と音声案内は、全てのスピーカーから混ざって出力されます。

メンテナンス情報を設定する

車のオイルや消耗品の交換時期がきたことを画面でお知らせします。

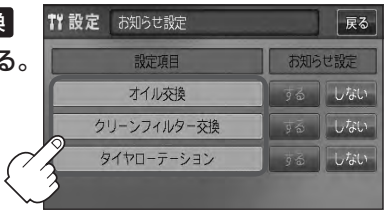
1 MENU を押す。

2 お知らせ をタッチする。

：お知らせ設定画面が表示されます。

3 設定項目（ オイル交換 ／ クリーンフィルター交換 ／ タイヤローテーション ）を選択し、タッチする。

：各設定の詳細画面が表示されます。



4 − ／ ＋ をタッチして距離を設定する。

※設定距離は500～3万 kmの範囲で、500 km単位で設定できます。

（例）

アドバイス

- 設定した距離がすぎたら上記手順 1 ～ 3 に従って操作し詳細画面を表示させ、情報の消去（J-4）を行なってから、もう一度距離の設定をしなおしてください。
- 一定通知距離を設定した後、通知距離に満たない距離を走行した状態で、通知開始距離を短く設定した場合（通知距離“0”表示）次のエンジンスイッチⅠ（アクセサリー）／Ⅱ（ON）でメンテナンス情報が表示されます。このような場合は一度設定消去を行ない、通知開始距離を現在の走行距離から通知距離に再設定しなおしてください。
- 設定した距離を走行すると、本機を立ち上げた（起動した）ときにそれぞれの画面でお知らせします。
  ※ お知らせ不要 をタッチすると次回起動時からは案内されません。
- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきましたHonda販売店へご相談ください。
- インターナビ・リンクのメンテナンス情報とは連携していません。

アドバイス
- メンテナンス情報の設定をしていても、お知らせ設定を **しない** にしているときは案内されません。「■ **メンテナンス情報のお知らせを止める場合** 」J-4
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期はお車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

5 **戻る** をタッチする。

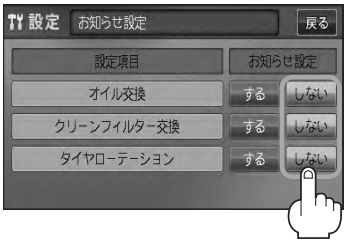
：お知らせ設定画面が表示され、設定した項目のお知らせ設定は **する** が選択されます。（ボタン点灯）

設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する

■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合

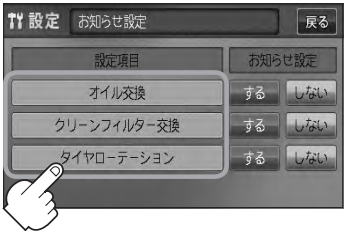
① J-3手順 **1** 、 **2** に従って操作し、各設定項目の **しない** をタッチする。

※お知らせしたいときには、再度 **する** をタッチしてください。



■ メンテナンス情報の設定を消去する場合

① J-3手順 **1** 、 **2** に従って操作し、設定を消去する項目を選びタッチする。



② **設定消去** をタッチする。

：設定を消去してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** をタッチします。

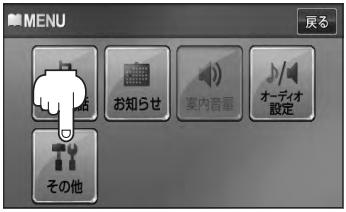
キー操作音の設定をする

本機操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1 MENU を押す。

2 その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。



3 キー操作音(する ／ しない)を選択し、タッチする。

■ キー操作音を出す場合

① する をタッチする。

■ キー操作音を出さない場合

① しない をタッチする。

4 戻る をタッチする。

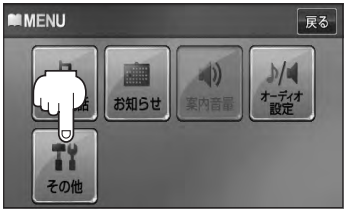
J-6 データを初期化(消去)する

本機に登録・設定された内容やSDカードにあるデータを初期化することができます。

1 MENU を押す。

2 **その他** をタッチする。

：その他画面が表示されます。



3 **初期化** をタッチする。

：初期化画面が表示されます。

4 初期化したい項目(**SDカードの初期化** ／ **出荷状態に戻す**)をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を画面に従って選択します。

お願い

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で はい を選択すると、お客様の登録情報は消去され、二度と復帰しません。**

※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

アドバイス

- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチ(電源)を0(ロック)にしてください。
- 手順 4 (☞ J-6)で選択する項目によって初期化される内容が異なります。
  - **SDカードの初期化** ボタン ……SDカードにあるデータを初期化します。
  - **出荷状態に戻す** ボタン ……個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。
- **出荷状態に戻す** を行なったときは、オーディオモードがOFFになります。

リアカメラ映像を設定する

車両標準装備
別売

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。
（リアカメラの映像を調整するには☞「画質調整のしかた」K-2をご覧ください。）

リアカメラ映像を表示する

■ 車のセレクトレバーをリバースに入れた場合

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。
その間、後方確認のメッセージが表示されます。

■ 車のセレクトレバーをリバース以外に入れた場合

：もとの画面に戻ります。

（例）リアカメラ映像

ビュー はリアワイドカメラ接続時のみ表示されます。

ビューの切り替えをする （リアワイドカメラ接続時のみ）

1 **リアカメラ映像画面表示中に ビュー をタッチする。**

：ビュー切り替えボタンが表示されます。

2 **ビュー切り替えボタン（ ノーマル ／ ワイド ／ トップダウン ）をタッチする。**

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューはグレーアウトとなりタッチできません。

※ビューの切り替えボタン表示後、５秒間操作がない場合はビュー切り替えボタンが消えます。

お願い

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが、十分に周囲の安全を確認してから行なってください。

リアカメラガイドを表示する

1 パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れ、リアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチして ガイドON をタッチする。

：リアカメラガイドが表示されます。

ガイドON ↔ ガイドOFF と切り替わります。

アドバイス ガイドON ↔ ガイドOFF はパーキングブレーキをかけなくてもボタンをタッチすることができますが、周囲の安全を確認してから行なってください。

2 表示を止めるには画面をタッチして ガイドOFF をタッチする。

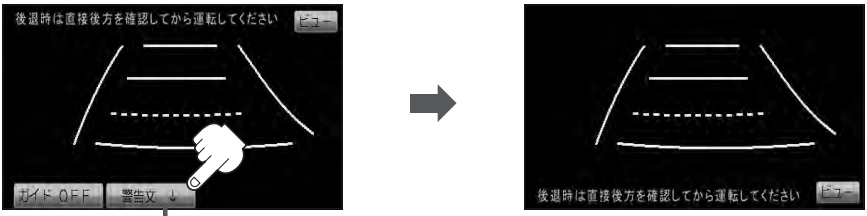
お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行なわないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行なってください。

警告文の位置を下げる

1 リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして **警告文↓** をタッチする。

：画面上部の警告文が画面下部に表示されます。

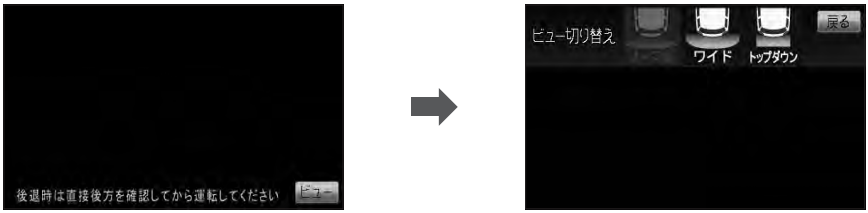


警告文↓ ↔ **警告文↑** と切り替わります。

2 位置を上げるには画面をタッチして **警告文↑** をタッチする。

アドバイス

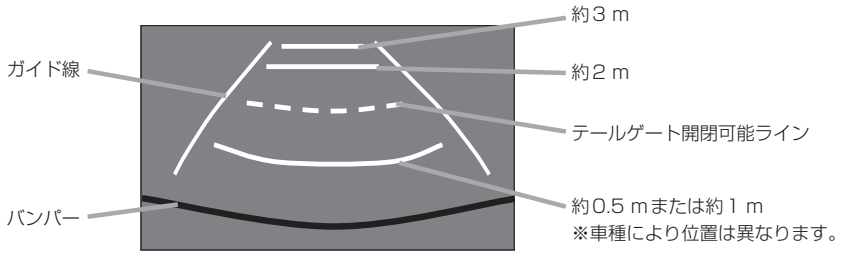
- 車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。
- リアワイドカメラ接続時では、警告文の位置を下側にすると **ビュー** も下側に移動しますが、ビュー切り替えボタンは上側に表示されます。



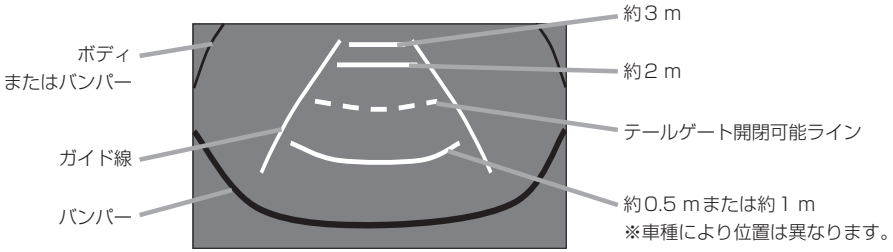
リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類及び選択した表示ビューにより見え方が異なります。

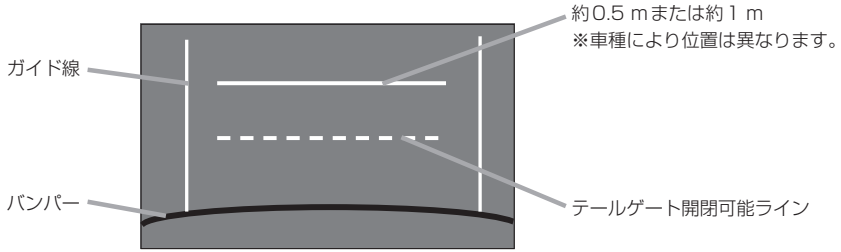
●リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)の画面



●リアワイドカメラ(ワイドビュー)の画面

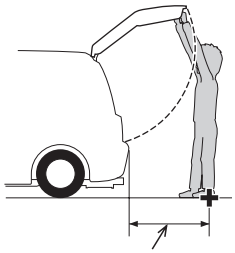


●リアワイドカメラ(トップダウンビュー)の画面



アドバイス

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、各Honda販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、各Honda販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
  - 図(J-10)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
  - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
    - 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
    - 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などを使って強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

J-12 リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)

車両標準装備
別売

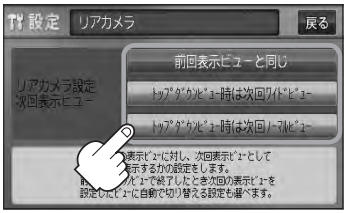
リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているとき、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。
リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

1 MENU を押す。

2 **リアカメラ設定** をタッチする。

：リアカメラ設定画面が表示されます。

3 トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。



■ 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える場合

① **トップダウンビュー時は次回ワイドビュー** ／
トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー をタッチする。

■ 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする場合

① **前回表示ビューと同じ** をタッチする。

4 **戻る** をタッチする。

時計を調整する

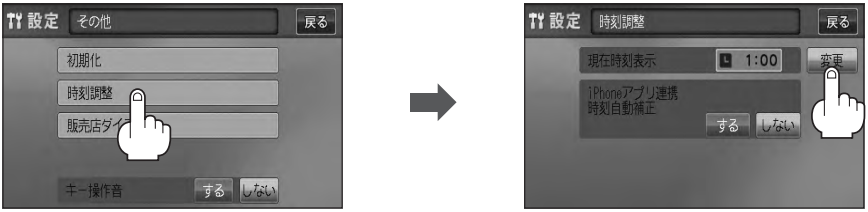
1 MENU を押す。

2 **その他** をタッチする。

：その他画面が表示されます。

3 **時刻調整** ➡ **変更** をタッチする。

：時刻設定画面が表示されます。



4 10キーボタン(**0** ～ **9**)をタッチして、現在時刻を入力する。

※選択不可能な数字は灰色表示になります。

- 入力した数字を１つ訂正する場合
  訂正 をタッチする。
- 全ての数字を訂正する場合
  訂正 を長めにタッチする。

5 **決定** をタッチする。

：時刻調整画面に戻ります。
秒が0となり、時計が動き始めます。

※ **決定** をタッチしないで **戻る** をタッチまたは MENU ／ AUDIO ／ [⎚] を押すと設定は保持されません。

6 **戻る** をタッチする。

アドバイス

- 時計は24時間表示です。
- 本機とiPhoneを連携中、iPhoneの時刻に自動調整することもできます。（☞H-6）

K
その他

画質調整のしかた……K-2
画質調整を初期値に戻す……K-3
オーディオ リモコン スイッチ……K-4
音声はそのままで画面を消す……K-5
ボタンの照明について……K-5
個人情報の取り扱いについて……K-6
故障かな？と思ったら……K-7
メッセージ表示について……K-17
チャンネル一覧……K-20
用語説明……K-22
初期設定一覧……K-25
別売品（システムアップ）について……K-26
主な仕様……K-27
構成内容……K-28
保証／アフターサービスについて……K-29

K-2 画質調整のしかた

- ラジオ(FM／AM)／CD／MP3／WMA／SD／USB／iPodモード画面のときは、明るさ／コントラスト調整ができます。
- ワンセグ画面／アプリ連携画面のときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。(ただし、ワンセグ画面のとき、走行中は明るさ／コントラスト調整のみとなります。)
- 本機に別売のリアカメラを接続しているときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。

アドバイス
- 画質は、ラジオ(FM／AM)／CD／MP3／WMA／SD／USB／iPodモードの画面、ワンセグ画面、アプリ連携画面で別々に調整することができます。
- 携帯電話 タッチ(I-5)後(ハンズフリー機能)は、[画質]を2秒以上押しても画質調整を行なうことはできません。(画質調整画面は表示されません。)
  画質調整は、ハンズフリー機能画面以外で行なってください。

1 [画質]を2秒以上押す。

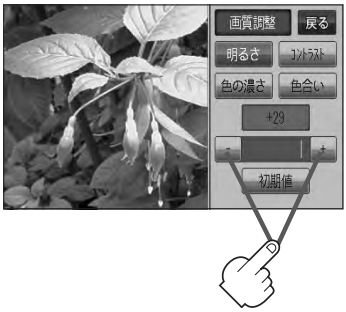
：画面右側に画面調整画面が表示されます。

2 調整したい項目(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)をタッチする。

(例)画質調整画面

3 −／＋をタッチして値を調整する。

(例)画質調整画面



アドバイス
タッチパネルの − または ＋ をタッチし続けると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ(1～31)調整の場合

① − をタッチすると暗くなり、＋ をタッチすると明るくなる。

アドバイス
車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれお好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

① **－** をタッチすると黒さが増し、 **＋** をタッチすると白さが増す。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

① **－** をタッチすると淡くなり、 **＋** をタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

① **－** をタッチすると赤が強くなり、 **＋** をタッチすると緑が強くなる。

アドバイス 人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

4 設定を終えるには、 **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻す

手順 **2** 、 **3** (☞K-2)で調整した画質(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1 K-2手順 **1** に従って操作し、
初期値 をタッチする。

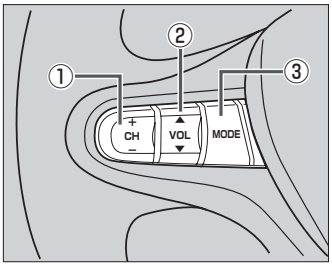
：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

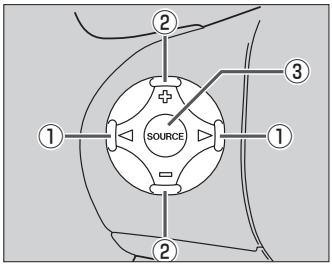
(例)画質調整画面

K-4 オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。
イラストはイメージ図です。





車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。
※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH＋／CH－スイッチ、◁／▷スイッチ

■ ラジオを聞いている／ワンセグを見ている場合

CH＋／▷を押す。：プリセットされている次の放送局を選局します。
CH－／◁を押す。：プリセットされている前の放送局を選局します。
CH＋／CH－を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

■ CD／SD／USBを聞いている場合

CH＋／▷を押す。：スキップ(次の曲の頭出し)します。
CH－／◁を押す。：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
CH＋を長く押す。：早送りします。
CH－を長く押す。：早戻しします。

② VOL▲／VOL▼スイッチ、＋／－スイッチ

VOL▲／＋を押す。：音量が大きくなります。
VOL▼／－を押す。：音量が小さくなります。
VOL▲／＋を長く押す。：連続して音量が大きくなります。
VOL▼／－を長く押す。：連続して音量が小さくなります。

③ MODE、SOURCEスイッチ

スイッチを押すたびに、右記のようにモードが切り替わります。

CD → FM → AM → ワンセグ
↑ USB* ← SD ←

＊印…USBの接続方法は、☞「USB機器を本機に接続する」G-4、
または☞「iPodを本機に接続する」G-4をご覧ください。

アドバイス
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
  ※オーディオモード終了(OFF)のときにMODEまたはSOURCEスイッチを押すとCDモードを表示します。
- CD／MP3／WMA／ディスク未挿入の場合はそのモードを飛ばします。

音声はそのままで画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

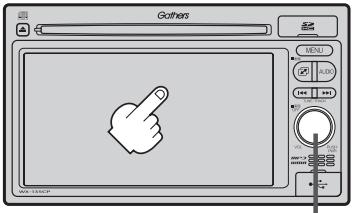
1 ◯ボタン(VOL／PUSH PWR)を2秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

■ 再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、
再度◯ボタン(VOL／PUSH PWR)を押す。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



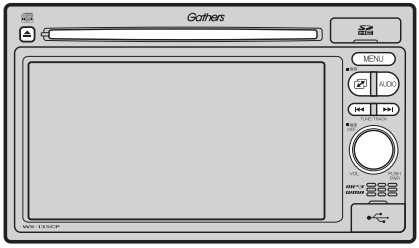
◯ボタン(VOL／PUSH PWR)

アドバイス

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消モード中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
  ※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消モードに戻ります。
- リアカメラを接続し、カメラ映像を表示している場合は、◯ボタン(VOL／PUSH PWR)を長押ししても画面を消すことはできません。

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタン(MENU)やボタンの文字(AUDIO)、イラスト(⏏、▲、⏮ ⏭)、◯ボタン(VOL／PUSH PWR)の周囲、ディスクの挿入口が点灯します。



K-6 個人情報の取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞「データを初期化(消去)する」J-6

■ それぞれの設定箇所で消去する場合

- 本機に内蔵されている地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)に関する情報の削除
  ☞「設定を初期化する」D-27
- 本機から発信または本機に着信した履歴情報の削除
  ☞「発着履歴を削除する」I-30

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共　　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	◯ボタン(VOL／PUSH PWR)で調整してください。	B-25
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	音質・音量バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合はBALANCEとFADEを“0”に合わせます。	B-26
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	–
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	–
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズやラベルの付いているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	A-15
ディスクを読み込まない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	A-15
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シート等が貼ってある。	保護シート等の種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	–
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。	車速連動音量を設定してください。	B-28

モニター

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	K-2
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	K-5
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。（トンネル内など画面が急に暗くなります。）オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないと画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと１時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
ワンセグなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	K-2
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
ディスプレイに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—

リアカメラシステム

症　状	原　因	処　置	参考ページ
カメラ映像が出ない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。	セレクトレバーがRの位置になっているか確認してください。	J-7
カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	J-11
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。	CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。	–
	車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。		
リアカメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行なってください。	–
	ガイド表示が“OFF”になっている。	セレクトレバーがRの位置になっている状態で画面をタッチし、**ガイドON**をタッチしてください。	J-8
リアカメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	Honda販売店での調整が必要です。	–
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。	–

ラジオ

症　状	原　因	処　置	参考ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	C-5
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	C-5
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。	–
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	–
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	–

ワンセグ

症　状	原　因	処　置	参考ページ
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	–
受信できない。	エリア変更をしていない。	エリアを変更してください。	D-6
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。 ※アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合や、アンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に 電源 切 に設定されます。	アンテナ電源を 電源 入 に設定してください。 ※設定できない場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。	D-26
番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	–
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行なった ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	–

CD、MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CD、MP3／WMAモードに切り替わらない。	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。	–
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音が飛んだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	–
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	A-15
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	–
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	–
ディスクが入らない。	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	–
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	–
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	–
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	–

CD、MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	–
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	–
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	–
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	B-4
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	–
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。）	–
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	–
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	–
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。	–

SD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
SDカードの再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)してから音楽ファイルを入れてください。	J-6
	本機で再生できないSDカードを差し込んでいる。	再生可能なSDカードを差し込んでください。	B-10
		対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	―
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	―
SDの再生画面を表示しない。	SDカード未挿入。	SDカードを差し込んでください。	―
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	―
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	―
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	―
ファイル再生が記録したい順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、SD書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SDへ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	―

USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
USBの再生画面を表示しない。	USB機器未接続。	USB機器を接続してください。	G-4
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	B-12
再生が始まるまでに時間がかかる。	USB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	–
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	–
USB機器を認識していない。	対応しないUSB機器の可能性があります。	別のUSB機器で試してください。	G-4
	別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPod本体に付属されているUSBケーブルが正しく接続されていない。	別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPod本体に付属されているUSBケーブルが正しくUSB接続端子に接続されているか確認してください。	

iPod

症　状	原　因	処　置	参考ページ
正常に動作しない。	接続不良。	USB接続端子にiPod本体に付属されているUSBケーブルを使って、iPodを確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	G-4
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	–
	iPodのバージョンが古い。	iPodのバージョンを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	B-14
	iPodが正常に動作していない。	iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。	–
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れて(◯ボタン(VOL／PUSH PWR)を押して)ください。	B-19、G-4

iPhoneの専用アプリ連携

症　状	原　因	処　置	参考ページ
iPhone標準のミュージックアプリで音楽再生できるが、専用アプリとiPhone連携ができない。	iPhone本体に付属されているUSBケーブルで接続している	別売のiPhone用接続キットをお買い求めください。	H-4
iPhone連携ができない。	iPhone連携が可能な機種は、iPhone4、iPhone4Sのみで他の機種には対応していません。	–	H-3
iPhoneの専用アプリがインストールされているのに、本機に連携画面が表示されない。	● 専用アプリを起動していない。 ● 専用アプリの画面を表示していない。	● 専用アプリを起動してください。 ● 専用アプリの画面に切り替えてください。	–

ハンズフリー

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ビルの谷間などで音声が乱れる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ● **相手の声が聞こえない。** ● **着信音が聞こえない。**	音量が最小になっている。	発着信音量、受話音量を調整してください。	I-14、I-15
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	音量を下げているまたは音声を消している。（ミュート中）	音量を上げるか、ミュートを解除してください。	I-16、I-21
通話後、オーディオの声が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げてください。	B-25
携帯電話と接続できない。	Bluetoothで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBluetooth機能をONにするか、車のエンジンスイッチを0（ロック）→Ⅱ（ON）にしてください。	—
	Bluetooth対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページより確認してください。	I-4 アドバイス
iPhoneと接続しているのにハンズフリーができない。	iPhone本体に付属されているUSBケーブルや別売のiPhone用接続キットを接続しただけではハンズフリー機能を使用できません。	iPhone側のBluetoothが使用できるよう設定してください。	—

メッセージ表示について

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“信号が受信できません。”	放送エリア外に居るとき。	放送エリア外では受信できません。	–
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	–
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。 ご不明な点はお買い上げのHonda販売店にご相談ください。	D-24
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。	–
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。 また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	–
	放送エリア内に居るが、受信できないとき。	社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	–
“このキーにはプリセットの設定がされていません。”	設定がされていない エリア ／ プリセット をタッチしたとき。	チャンネルリスト画面またはプリセットリスト画面でプリセットを確認してください。	D-14、D-16
“走行中は映りません。”	走行中にワンセグを見ようとしたとき。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。 安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	–
“再生ファイルがありません。SDカードを確認してください。”	SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	B-10
“再生ファイルがありません。USB機器を確認してください。”	USB機器に再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。	B-12

メッセージ表示について

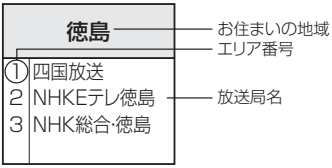
メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	–
	ファイル数が多いSDカード／USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	–
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をオフにし、SDカード／USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	B-18、B-19、G-4
“SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	B-10、B-18
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をオフにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。	B-18、B-19
“使用できないSDカードが挿入されています。SDカードを確認してください。”	使用できないSDカードが差し込まれている。	対応可能なSDカードを使用し、本機で初期化したSDカードを使用してください。	J-6、B-10
“ディスクを入れてください”	ディスクが入っていないとき。	正しいディスクを挿入してください。	–
“再生可能なディスクを入れてください。”	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを挿入してください。	A-13、A-15
	ディスクが逆に挿入されている。	ディスクを正しく挿入してください。	
	ディスクに汚れ／異常がある。	● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、前のディスクに異常がある可能性があります。	
	音楽用ディスク以外のディスクが挿入されている。	正しいディスクを挿入してください。	
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できないとき。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	G-4
“USB機器が接続されていません。USB機器を接続してください。”	USB機器が接続されていないとき。	再生可能なファイルが入ったUSB機器を接続してください。	B-12、G-4

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“接続されているUSB機器では、再生することができません。”	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されているとき。	本機が対応しているUSB機器を使用してください。	B-12
“携帯電話の接続が解除されました。”	携帯電話との接続が切れたとき。	携帯電話を本機に近づけてください。	–
		対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページより確認してください。	I-4 アドバイス
“登録できませんでした。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なるとき。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	I-17
	他のBluetooth機種からの登録が行なわれているとき。	ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。	–

チャンネル一覧

地域設定で選択された地域の、エリア番号と放送局の組み合わせは、下記のようになります。
※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。
割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。
一度放送局を受信(視聴)すると、最新の放送局名が表示されます。
※放送局側の都合により放送局名等変更になる場合があります。

■ 表のみかた



(2012年1月現在)

お住まいの地域	北海道（函館）	北海道（札幌）	北海道（室蘭）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（北見）
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ函館 3 NHK総合·函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ札幌 3 NHK総合·札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ室蘭 3 NHK総合·室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ旭川 3 NHK総合·旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ帯広 3 NHK総合·帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ北見 3 NHK総合·北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道（釧路）	青森	秋田	山形	岩手	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ釧路 3 NHK総合·釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 RAB青森放送 2 NHKEテレ青森 3 NHK総合·青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 6 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合·秋田 2 NHKEテレ秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合·山形 2 NHKEテレ山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合·盛岡 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 IBCテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHKEテレ仙台 3 NHK総合·仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送

お住まいの地域	福島	群馬	埼玉	山梨	栃木	東京
放送局名	1 NHK総合·福島 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 群馬テレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·甲府 2 NHKEテレ甲府 4 YBS山梨放送 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	茨城	千葉	福井	石川	富山
放送局名	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·水戸 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·福井 2 NHKEテレ福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 NHK総合·金沢 1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ富山 3 NHK総合·富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	新潟	長野	岐阜	三重	愛知	静岡
放送局名	1 NHK総合·新潟 2 NHKEテレ新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合·長野 2 NHKEテレ長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合 岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ～テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ～テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ～テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 NHK総合·静岡 2 NHKEテレ静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡

お住まいの地域	兵庫	京都	大阪	和歌山	滋賀	奈良
放送局名	1 NHK総合·神戸 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·京都 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·大阪 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·和歌山 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·大津 2 NHKEテレ大阪 3 BBCびわ湖放送 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·奈良 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 9 奈良テレビ 10 読売テレビ

お住まいの地域	愛媛	高知	香川	徳島	島根	山口
放送局名	1 NHK総合·松山 2 NHKEテレ松山 4 南海放送 4 RNC西日本テレビ 4 広島テレビ 5 愛媛朝日 5 広島ホームテレビ 6 あいテレビ 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 テレビ愛媛 8 TSS	1 NHK総合·高知 2 NHKEテレ高知 4 高知放送 6 テレビ高知 8 さんさんテレビ	1 NHK総合·高松 2 NHKEテレ高松 4 RNC西日本テレビ 4 MBS毎日放送 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 6 ABCテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 四国放送 2 NHKEテレ徳島 3 NHK総合·徳島 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ松江 3 NHK総合·松江 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合·山口 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ山口 3 tysテレビ山口 3 OBS大分放送 4 KRY山口放送 4 RKB毎日放送 5 yab山口朝日 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本

お住まいの地域	広島	鳥取	岡山	長崎	佐賀	熊本
放送局名	1 NHK総合·広島 2 NHKEテレ広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ鳥取 3 NHK総合·鳥取 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合·岡山 2 NHKEテレ岡山 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合·長崎 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ長崎 3 NBC長崎放送 3 RKK熊本放送 4 NIB長崎国際テレビ 4 RKB毎日放送 4 KKTくまもと県民 5 NCC長崎文化放送 8 KTNテレビ長崎 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合·佐賀 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ佐賀 3 STSサガテレビ 3 RKK熊本放送 3 NBC長崎放送 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎	1 NHK総合·熊本 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ熊本 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 KKTくまもと県民 4 RKB毎日放送 5 KAB熊本朝日放送 7 TVQ九州放送 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	福岡	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ福岡 2 NHKEテレ北九州 3 NHK総合·福岡 3 NHK総合·北九州 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合·大分 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 4 南海放送 4 RKB毎日放送 5 OAB大分朝日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合·宮崎 1 MBC南日本放送 2 NHKEテレ宮崎 3 UMKテレビ宮崎 5 KKB鹿児島放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ	1 MBC南日本放送 2 NHKEテレ鹿児島 3 NHK総合·鹿児島 3 UMKテレビ宮崎 4 KYT鹿児島読売TV 4 KKTくまもと県民 5 KKB鹿児島放送 5 KAB熊本朝日放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合·沖縄 2 NHKEテレ沖縄 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ（OTV）

用語説明

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

ID3タグ／WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

Joliet(ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

SDHC(エスディーエイチシー)

SDカードアソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で、4 GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2 MB/s)」「CLASS4 (4 MB/s)」「CLASS6 (6 MB/s)」「CLASS10 (10 MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

アスペクト比
画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4：3(普通のテレビ)と16：9(ワイドテレビ)の2種類あります。

エンコーダ
データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード
データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト
音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD
パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

サンプリング周波数
アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表わす数値のことです。

字幕放送
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

受信レベル
アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。
受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション
CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)
セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・**地上デジタルテレビ放送**
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。
くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。
※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・**ワンセグ**
地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、再生時には録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行ないます。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行なって接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー

Bluetooth接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの英数字(パスキー)を入力する必要があります。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

初期設定一覧

● **音質／音量バランス調整** ☞ B-26

各項目の調整値＝0

● **車速連動音量** ☞ B-28

設定＝MIDDLE

● **音量調整** ☞ B-25

音量＝3

● **画質調整** ☞ K-2

明るさ＝29(イルミネーションON時は9)
コントラスト＝16
色の濃さ＝21
色合い＝18

● **FM／AM(ラジオ)** ☞ C-1

受信エリア＝東京
FM周波数＝76.0 MHz
AM周波数＝522 kHz
交通情報＝1620 kHz

● **ワンセグ** ☞ D-1

視聴エリア＝東京
プリセット登録(1 ～ 12 (エリア))＝登録済(東京)
チャンネルリスト＝登録済(東京)
プリセットリスト＝未登録

音声設定＝音声1、主

字幕設定＝字幕なし

システム設定
各種設定
時計表示＝する
中継局サーチ＝自動
アンテナ電源
アンテナ電源＝電源 入

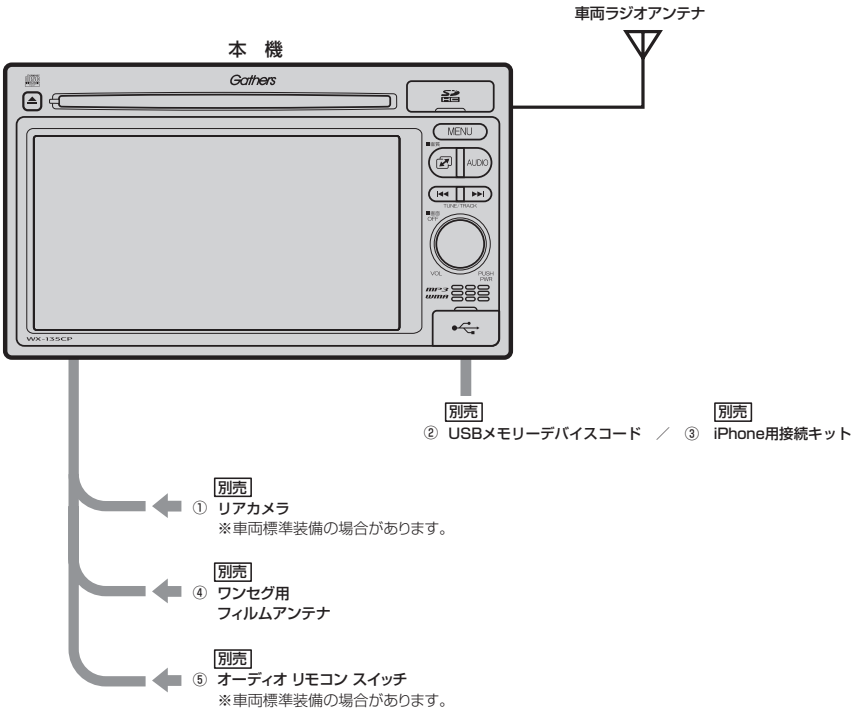
● **ハンズフリー** ☞ I-1

パスキー＝1212
発着信音量＝＋10
受話音量＝＋10
送話音量＝＋4
自動接続＝する

● **案内音量** ☞ J-2

音量＝左から8目盛り目(15目盛り中)

別売品(システムアップ)について



①リアカメラ

②USBメモリーデバイスコード
USB機器を接続する場合に必要です。

③iPhone用接続キット
本機と連携可能な専用アプリを本機に表示する場合に必要です。
また、iPhone標準のミュージックアプリの音楽を楽しむことができます。

④ワンセグ用フィルムアンテナ
地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を受信します。

⑤オーディオ リモコン スイッチ

※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

主な仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	6.1 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	000～999 UHF：13～62チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

CD部

周波数特性	20～20,000 Hz
S／N比	75 dB以上(JIS-A使用)
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0 MHz AM 522～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 32 dB(μV)
S／N比	FM 55 dB(20 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(20 kHz L.P.F.使用)
ステレオセパレーション	FM 30 dB(20 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3 % AM 0.5 %

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
ラジオ入力端子	GT13専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
USB端子	TYPE A コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
ワンセグアンテナ入力端子	2ピン専用コネクター

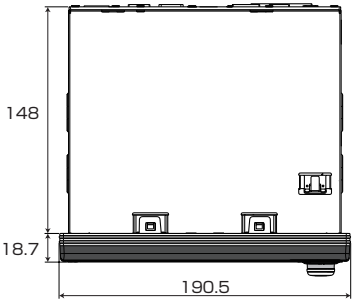
その他

供給電源電圧	DC12 V
最大出力	45 W×4(15.2 V)
外形寸法	190.5×111×166.7 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	2120 g

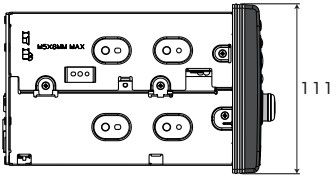
※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
※モニター部の画面サイズのV型(6.1 V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

構成内容

外形寸法図(本体)



[平面図]



[左側面図]

(単位：mm)

保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき … 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低６年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

L
さくいん

さくいん……L-2

さくいん

数字・アルファベット

AACの再生について……B-10, B-12
AM
交通情報……C-11
選局する……C-5
タッチパネル部について……C-2
バンド(FM／AM)を切り替える……C-4
表示部について……C-4
プリセットボタンにメモリーする……C-9
AV SOURCE画面のモードボタンについて…B-20
CD
一時停止……E-4
タッチパネル部について……E-2
トラックリストより選曲する……E-4
パネル操作ボタンで選曲する……B-21
早戻し／早送りをする……B-22
表示部(再生画面)について……E-3
リピート／ランダム／スキャン再生……B-23
FM
交通情報……C-11
選局する……C-5
タッチパネル部について……C-2
バンド(FM／AM)を切り替える……C-4
表示部について……C-4
プリセットボタンにメモリーする……C-9
iPod
iPodについて……B-14
一時停止……G-8
接続する……G-4
接続をやめる……G-5
選曲モード選択……G-10
対応可能なiPod……B-15
タッチパネル部について……G-2
トラックリストより選曲する……G-9
パネル操作ボタンで選曲する……B-21
表示部(再生画面)について……G-3
リピート／ランダム／スキャン／
シャッフル再生……B-23
MP3／WMA
一時停止……E-4
タッチパネル部について……E-2
ディスクのMP3／WMA音楽再生について……B-4
トラックリストより選曲する……E-4
表示部(再生画面)について……E-3
フォルダを選択する……E-5
リピート／ランダム／スキャン再生……B-23
SDカード
SDカードについて……A-16
SDカードの音楽再生について……B-10
一時停止……F-4
入れる／取り出す……B-18
タッチパネル部について……F-2
取り扱いかた……A-19
パネル操作ボタンで選曲する……B-21
早戻し／早送りをする……B-22
表示部(再生画面)について……F-3
フォルダを選択する……F-6
リストより選曲する……F-4
リピート／ランダム／スキャン再生……B-23
USB
USB機器について……A-16
USB機器の音楽再生について……B-12
一時停止……G-6
接続する……G-4
接続をやめる……G-5
タッチパネル部について……G-2
パネル操作ボタンで選曲する……B-21
早戻し／早送りをする……B-22
表示部(再生画面)について……G-3
フォルダを選択する……G-8
リストより選曲する……G-6
リピート／ランダム／スキャン再生……B-23

ア

アフターサービス……K-29
オーディオモードON／OFF……B-19
オーディオ リモコン スイッチ……K-4
主な仕様……K-27
音質／音量バランス調整……B-26
音声案内の音量調整……J-2
音声はそのままで画面を消す……K-5
音量調整(オーディオモード)……B-25

カ

各部の名称とはたらき……A-20
画質調整……K-2
カメラ
リアカメラ映像設定……J-7
画面の曇りについて……A-5
キー操作音設定……J-5
故障かな？と思ったら……K-7
個人情報の取り扱いについて……K-6

サ

再生できるディスク……A-13

削除
ハンズフリー
・携帯電話を削除……I-7
・発着履歴を削除……I-30
システムアップ(別売品)……K-26
仕様……K-27
初期化
SDカードの初期化……J-6
画質調整を初期値に戻す……K-3
出荷状態に戻す……J-6
チャンネルリスト／プリセットリストの初期化……D-20
ワンセグメニューの初期化……D-27
初期設定一覧……K-25
接続
iPodを接続する……G-4
USB機器を接続する……G-4
携帯電話を接続(登録)する……I-5
設定
キー操作音の設定をする……J-5
車速連動音量設定……B-28
ハンズフリー初期登録設定……I-5
メンテナンス情報設定……J-3
リアカメラ映像設定……J-7
ワンセグ
・アンテナ電源設定……D-26
・音声と字幕設定……D-28
・中継局サーチ設定……D-22
・時計表示設定……D-22
選局
FM／AM……C-5
ワンセグ……D-13
選曲
CD／MP3／WMA……E-4
iPod……G-9
SD……F-4
USB……G-6
パネルのボタンで選曲する……B-21

タ

登録
携帯電話登録……I-5

ハ

早戻し／早送り……B-22
ハンズフリー
Bluetooth情報を見る……I-13
初期登録設定……I-5
・携帯電話登録……I-5
・携帯電話を切り替える……I-9
・自動接続設定……I-10
・受話音量設定……I-15
・送話音量設定……I-16
・着信音量設定……I-14
・パスキー変更……I-17
・優先接続設定……I-12
電話を受ける……I-19
・着信音量設定……I-19
・通話拒否(終了)……I-21
・通話切替(携帯⇔ハンズフリー)……I-22
・電話に出る……I-19
・トーン入力……I-23
・保留にする……I-20
・ミュートにする……I-21
電話をかける……I-24
・電話番号から……I-24
・リダイヤルから……I-26
・履歴から……I-27
登録した携帯電話の詳細情報を見る……I-7
登録した携帯電話を削除する……I-7
発着履歴を削除する……I-30
ハンズフリーについて……I-2
表示部
CD／MP3／WMA……E-3
FM／AM……C-4
SD……F-3
USB／iPod……G-3
ページ送り／戻し……B-19
別売品(システムアップ)について……K-26
保証／アフターサービスについて……K-29
ボタンの照明について……K-5

マ

メッセージ表示について……K-17
メニュー画面
ワンセグメニュー画面について……D-4
メンテナンス情報の設定……J-3
モード選択……B-16

ヤ

用語説明……K-22

ラ

リアカメラ映像を設定する……J-7
カメラ映像について……J-11
警告文の位置を下げる……J-9
リアカメラ映像を表示する……J-7
リアカメラガイドの見かた……J-10
リアカメラガイドを表示する……J-8
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生……B-23

ワ

ワンセグ
設定
・アンテナ電源設定……D-26
・音声と字幕設定……D-28
・受信レベル確認……D-24
・設定を初期化する……D-27
・時計表示／中継局サーチ設定……D-22
ワンセグ
・視聴エリアの変更をする……D-6
・初期スキャン／再スキャン……D-11
・タッチパネル部について……D-3
・地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について……B-2
・チャンネルリスト／プリセットリストの初期化……D-20
・中継局サーチ……D-10
・バナー表示……D-2
・番組表を見る……D-8
・プリセットで放送局を選ぶ……D-14
・プリセットボタンにメモリーする……D-18
・マルチサービスについて……B-3
・ワンセグについて……B-2
・ワンセグの画像について……B-3
・ワンセグの番組受信について……B-3
・ワンセグメニュー画面について……D-4

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間:**9時～12時、13時～17時**／
但し、土日・祝祭日、弊社指定休日は除く）

■ インターナビ・リンクおよび専用アプリについてのお問い合わせは、
インターナビ情報センターサポートデスクまでお願いします。

本田技研工業株式会社
「インターナビ情報センター　サポートデスク（会員専用）」

全国共通フリーダイヤル　0120-738147

（受付時間　月～土曜　9時30分～12時、13時～18時
祝日・夏期休暇・年始年末を除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　パナソニック株式会社
オートモーティブシステムズ社　〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

PART NO. 08A00-5R0-4001-8A
Printed in Japan　PART NO. YEFM0410390A